

(假譯)

目次

一、千九百三十六年「ロンドン」海軍條約	一頁
二、署名議定書	三一
三、追加議定書	三五

目次

(假譯)

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約

昭和十一年(千九百三十六年)三月二十五日「ロンドン」ニ於テ署名

(本條約ノ歐文ハ英國政府發行白書 Cmd. 5136 ヨリ之ヲ採リタリ)

「アメリカ」合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領竝ニ「グレート、ブリテン」、「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下ハ

海軍軍備ノ競争ニ常ニ件ヲ負擔ヲ輕減シ且危險ヲ防止センコトヲ希望シ

千九百二十二年二月六日「ワシントン」ニ於テ署名セラレタル海軍軍備制限ニ關スル條約竝ニ千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ署名セラレタル海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約(同條約第四編ヲ除ク)ノ將ニ來ルベキ失效ニ鑑ミ海軍軍備ノ制限及海軍艦船建造ニ關スル情報交換ニ付テノ規定ヲ作成センコトヲ希望シ

之ガ爲條約ヲ締結スルコトニ決シ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

「アメリカ」合衆國大統領

「ノーマン、エイチ、デーヴィス」

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

海軍作戰部長、合衆國海軍、海軍大將「ウィリアム、エイチ、スタンドリ」

佛蘭西共和國大統領

英國駐劄佛蘭西共和國特命全權大使「シャルル、コルバン」

地中海艦隊檢閲總監、海軍軍事參議官、海軍中將「ジョルジュ、ロベール」

「グレート、ブリテン」、「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」竝ニ國際聯盟ノ各個ノ聯盟國ニ非ザル英國ノ

一切ノ部分

外務大臣、下院議員「アントニー、イードゥン」

海軍大臣、子爵「モンセル」

外務政務次官、陸軍中佐、伯爵「スタナブ」

「カナダ」

「ロンドン」駐在「カナダ」高級委員「ヴィンセント、マッシー」

「オーストラリア」聯邦

「ロンドン」駐在「オーストラリア」聯邦高級委員「スタンリー、メルボーン、ブルース」

「ニュー、ジールランド」

「ロンドン」駐在「ニュー、ジールランド」高級委員「クリスタフ、ジェームズ、バー」

印度

印度政務次官、下院議員「リチャード、オースティン、バトラ」

右各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一編

定義

第一條

本條約ノ適用ニ付テハ左ノ用語ハ以下ニ定ムル意義ニ解セラルベキモノトス

甲 基準排水量

(一) 水上艦船ノ基準排水量トハ工事完成セラレ、乗員充實セラレ、機關据附ケラレ且航海準備(一

切ノ武器及彈藥、齊備品、艙裝品、乗員用ノ糧食及清水、各種ノ需品竝ニ戰時ニ於テ搭載セラ
ルベキ各種ノ要具ヲ含ム)完成シ唯燃料及豫備罐水ヲ搭載セザル艦船ノ排水量ヲ謂フ

(二) 潛水艦ノ基準排水量トハ乗員充實セラレ、機關据附ケラレ且航海準備(一切ノ武器及彈藥、

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

齊備品、艙裝品、乗員用ノ糧食、各種ノ需品竝ニ戰時ニ於テ搭載セラルベキ各種ノ要具ヲ含ム）完成シ唯燃料、潤滑油、清水又ハ「バラスト」用水ハ如何ナル種類ノモノタルヲ問ハズ之ヲ搭載セザル工事完成セル艦船（非防水構造内ノ水ヲ含マズ）ノ水上排水量ヲ謂フ

(三) 「トン」ナル語ハ「メートル式トン」ナル用語ニ於ケルモノヲ除クノ外二千二百四十ポンド（千十六キログラム）ノトンヲ示ス

乙 艦種

(一) 主力艦トハ左ノ二艦級ノ一ニ屬スル水上軍艦ヲ謂フ

(甲) 航空母艦、補助艦船又ハ(乙)級主力艦以外ノ水上軍艦ニシテ基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）ヲ超ユルカ又ハ八インチ（二百三ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載スルモノ

(乙) 航空母艦以外ノ水上軍艦ニシテ基準排水量八千トン（八千二百二十八メートル式トン）ヲ超エズ且八インチ（二百三ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載スルモノ

(二) 航空母艦トハ排水量ノ如何ヲ問ハズ主トシテ海上ニ於テ航空機ヲ搭載シ且行動セシムル様設計セラレ又ハ改造セラレタル水上軍艦ヲ謂フ軍艦ニ降着用又ハ離昇用ノ甲板ヲ裝備スルコトハ

右軍艦ガ主トシテ海上ニ於テ航空機ヲ搭載シ且行動セシムル様設計セラレ又ハ改造セラレタルモノニ非ザル限り右ノ如ク裝備セラレタル軍艦ヲ航空母艦ノ艦種ニ分類スルニ至ラシムルコトナカルベシ

航空母艦ノ艦種ハ左ノ二艦級ニ分タル

(甲) 航空機ガ離昇シ又ハ空中ヨリ降著シ得ル飛行甲板ヲ裝備セラレタル艦船

(乙) 前記(甲)ニ掲ゲラルル飛行甲板ヲ裝備セラレザル艦船

(三) 輕水上艦トハ航空母艦、戦闘用小艦船又ハ補助艦船以外ノ水上軍艦ニシテ基準排水量百トン（百二メートル式トン）ヲ超エ一萬トン（一萬百六十メートル式トン）ヲ超エズ且八インチ（二百三ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載セザルモノヲ謂フ

輕水上艦ノ艦種ハ左ノ三艦級ニ分タル

(甲) 六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載スル艦船

(乙) 六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載セズ且基準排水量

三千トン（三千四十八メートル式トン）ヲ超ユル艦船

(丙) 六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載セズ且基準排水量

三千トン（三千四十八メートル式トン）ヲ超エザル艦船

(四) 潜水艦トハ海面下ニ於テ行動スル様設計セラレタル一切ノ艦船ヲ謂フ

(五) 戦闘用小艦船トハ補助艦船以外ノ水上軍艦ニシテ基準排水量百トン（百二メートル式トン）

ヲ超エ二千トン（二千三十二メートル式トン）ヲ超エザルモノヲ謂フ但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル

(イ) 六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載スルコト

(ロ) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト

(ハ) 二十ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト

(六) 補助艦船トハ基準排水量百トン（百二メートル式トン）ヲ超ユル海軍水上艦船ニシテ平常艦隊要務ノ爲ニ使用セラレ、軍隊輸送船トシテ使用セラレ又ハ戦闘用艦船トシテノ用途以外ノ用途ニ使用セラレ且特ニ戦闘用艦船トシテ建造セラレタルニ非ザルモノヲ謂フ但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル

(イ) 六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ搭載スルコト

(ロ) 三インチ（七十六ミリメートル）ヲ超ユル口径ヲ有スル砲ヲ八門ヲ超エ搭載スルコト

(ハ) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト

(ニ) 装甲板ニ依リ防護セラルル様設計セラレタルコト

(ホ) 二十八ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト

(ヘ) 主トシテ海上ニ於テ航空機ヲ行動セシムル様設計セラレ又ハ改造セラレタルコト

(ト) 航空機發進裝置ヲ二基ヲ超エ搭載スルコト

(七) 小艦艇トハ基準排水量百トン（百二メートル式トン）ヲ超エザル海軍水上艦船ヲ謂フ

丙 艦齡超過

左ノ艦種又ハ艦級ノ艦船ハ竣工後左記年數ヲ經過シタルトキハ「艦齡超過」ト爲レルモノト看做サルベシ

(イ) 主力艦、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、二十六

(ロ) 航空母艦、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、二十年

(ハ) (甲) 級及 (乙) 級輕水上艦

(一) 千九百二十年一月一日前ニ起工セラレタルトキハ、、、、、十六年

(二) 千九百十九年十二月三十一日後ニ起工セラレタルトキハ、二十年

- (二) 航空母艦ノ兵裝ガ口径五・二五インチ(百三十四ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ含ム場合ニハ右口径ヲ超ユル砲ノ搭載總數ハ十門ヲ超エザルベシ

第六條

- (一) 級輕水上艦ニシテ基準排水量八千トン(八千二百二十八メートル式トン)ヲ超ユルモノ及(甲)級輕水上艦ハ千九百四十三年一月一日前ニハ起工セラレ又ハ取得セラルルコトナカルベシ
- (二) 前記(一)ノ規定ニ拘ラズ何レカノ締約國ニ於テ自國ノ安全ノ要件ガ何レカノ國ニ依ル(乙)級輕水上艦又ハ前記(一)ノ制限ニ準據セザル輕水上艦ノ現實ノ又ハ公認セラレタル建造量ニ依リ重大ナル影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニハ右締約國ハ他ノ締約國ニ自國ノ意思及之ガ理由ヲ通告スルニ於テハ(甲)級及(乙)級ノ輕水上艦ニシテ基準排水量一萬トン(一萬百六十メートル式トン)ニ至ル迄ノモノハ之ヲ起工シ又ハ取得スルノ權利ヲ有スベシ但シ本條約第三編ノ規定ニ從フベキモノトス右ノ場合ニ於テハ他ノ各締約國ハ同一ノ權利ヲ行使スルノ權利ヲ有スベシ
- (三) 前記(一)ノ規定ハ右(一)ニ規定セラルル制限ヲ千九百四十二年後ニ繼續スルノ明示ノ又ハ默示ノ約束ヲ構成セザルモノトス

第七條

潜水艦ハ基準排水量二千トン(二千三十二メートル式トン)ヲ超エザルベク又口径五・一インチ(百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ搭載セザルベシ

第八條

各艦船ハ本條約第一條甲ニ定義セラルル所ニ從ヒ右艦船ノ基準排水量ニ於テ計測セラルベシ

第九條

商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ズ但シ口径六・一インチ(百五十五ミリメートル)ヲ超エザル砲ヲ裝備スル爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條

本條約ノ實施ノ日前ニ起工セラレタル艦船ニシテ基準排水量又ハ兵裝ガ本條約本編ニ於テ右艦船ノ艦種又ハ艦級ニ付規定セラルル限度又ハ制限ヲ超ユルモノ或ハ右ノ日前ニ以前ノ條約ノ規定ニ依リ專ラ標的用途ニ變更セラレ又ハ專ラ實驗用若ハ練習用ニ保有セラルルモノハ右ノ日前ニ右艦船ニ附シタル艦種又ハ呼稱ヲ保有スベシ

第三編

事前通報及情報交換

第十一條

- (一) 各締約國ハ自國ノ法域内ニ於テ建造セラルルモノタルト否トヲ問ハズ第十二條(イ)ニ掲ゲラルル艦種及艦級ノ一切ノ艦船ノ建造又ハ取得ニ付テノ年次計畫ニ關スル情報並ニ右艦船ニ關スル詳細及既ニ竣工セラレタル右艦種又ハ艦級ノ艦船ノ改造ニ關スル詳細ヲ示ス定期情報ヲ以下ニ規定セラルル所ニ從ヒ毎年他ノ各締約國ニ通報スベシ
- (二) 本條約本編以下ノ諸編ノ適用ニ付テハ情報ハ該情報ガ之ヲ與フル締約國ニ駐劄スル他ノ締約國ノ外交代表者ニ送達セラレタル日ニ右他ノ締約國ニ到達シタルモノト看做サルベシ
- (三) 右情報ハ之ヲ供給スル締約國ニ依リ公表セラルル迄祕密ノモノトシテ取扱ハルベシ

第十二條

- 前條ニ依リ一ノ締約國ガ建造シ又ハ建造セシムル艦船ニ關シ提供セラルベキ情報ハ左ノ如ク與ヘラルベク且一切ノ他ノ締約國ニ所定ノ期間内又ハ時期ニ到達スル様與ヘラルベシ
- (イ) 各曆年ノ最初ノ四月以内ニ左ノ艦種及艦級ノ一切ノ艦船ノ年次建造計畫ニシテ各艦種又ハ艦

級ノ艦船ノ數及各艦船ニ付最大備砲ノ口徑ヲ記載スルモノ、右艦種及艦級ハ左ノ如シ
主力艦

- (甲) 級
- (乙) 級

航空母艦

- (甲) 級
- (乙) 級

輕水上艦

- (甲) 級
- (乙) 級
- (丙) 級

潛水艦

- (ロ) 龍骨据附ノ日ノ少クトモ四月前ニ右各艦船ニ付左ノ細目艦名又ハ呼稱

艦種及艦級

トン及メートル式トンニ依ル基準排水量

基準排水量ニ於ケル水線全長

基準排水量ニ於ケル水線又ハ水線下ノ最大幅員

基準排水量ニ於ケル平均吃水

計畫馬力

計畫速力

機械ノ型式

燃料ノ種類

口徑三インチ（七十六ミリメートル）以上ノ一切ノ備砲ノ數及口徑

口徑三インチ（七十六ミリメートル）未滿ノ備砲ノ概數

魚雷發射管ノ數

機雷ヲ敷設スル爲ノ設計ノ有無

航空機ニシテ之ニ要スル施設ノ設ケラルベキモノノ概數

- (ハ) 右各艦船ノ龍骨ノ据附後成ルベク速ニ右据附ノ日
- (ニ) 右各艦船ノ竣工後一月以内ニ竣工ノ日及竣工時ノ當該艦船ニ關スル前記(ロ)ニ明示ノ一切ノ

細目

- (ホ) 毎年一月中ニ前記(イ)ニ掲ゲラルル艦種及艦級ニ屬スル艦船ニ付
 - (一) 建造中ノ艦船ニ前年中ニ加フルコトヲ必要トスルニ至リタルコトアルベキ一切ノ重要ナル變更ニシテ前記(ロ)ニ掲ゲラルル細目ニ影響スル限リ之ニ關スル情報
 - (二) 既ニ竣工セル艦船ニ前年中ニ加ヘラレタル一切ノ重要ナル變更ニシテ前記(ロ)ニ掲ゲラルル細目ニ影響スル限リ之ニ關スル情報
 - (三) 前年中ニ廢棄セラレ又ハ他ノ方法ニ依リ處分セラレタルコトアルベキ艦船ニ關スル情報
- 右艦船ガ廢棄セラレザル場合ニ付テハ右艦船ノ新地位及狀態ヲ決定スルニ充分ナル情報ガ與ヘラルベシ
- (ヘ) 竣工セラレタル艦船ヲシテ前記(イ)ニ掲ゲラルル艦種若ハ艦級中ノ一ニ屬スルニ至ラシムルガ如キ變更又ハ右艦船ヲシテ右艦種若ハ艦級ノ一ヨリ他ニ變ゼシムルガ如キ變更ニ著手スル少クトモ四月前ニ前記(ロ)ニ明示セララルル右艦船ノ計畫セラレタル特性ニ關スル情報

第十三條

第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ニ屬スル艦船ハ之ヲ包含セル年次計畫及第十二條 (ロ)ニ依リ規定セラルル右艦船ニ關スル細目ノ兩者ガ一切ノ他ノ締約國ニ到達シタル日ヨリ四月ノ期間ノ滿了シタル後ニ非ザレバ何レノ締約國ニ依リテモ起工セラレザルベシ

第十四條

締約國ガ第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ニ屬スル艦船ニシテ全部又ハ一部竣工セルモノヲ取得セント欲スル場合ニハ右艦船ハ右第十二條ニ規定セラルル年次計畫中ニ包含セラルル艦船ト同時ニ且之ト同様ノ方法ニ依リ宣言セラルベシ右艦船ハ右宣言ガ他ノ一切ノ締約國ニ到達シタル日ヨリ四月ノ期間ノ滿了シタル後ニ非ザレバ取得セラルルコトナカルベシ右艦船ニ關シテハ第十二條 (ロ)ニ掲ゲラルル細目及龍骨据附ノ日ハ右艦船ノ取得契約ガ署名セラレタル日ノ後一月以内ニ他ノ一切ノ締約國ニ到達スル様提供セラルベシ第十二條 (ニ)、(ホ)及(ヘ)ニ掲ゲラルル細目ハ右各號ニ規定セラルル所ニ從ヒ與ヘラルベシ

第十五條

第十二條 (イ)ニ依リ規定セラルル年次計畫ヲ通報スルニ當リテハ各締約國ハ他ノ一切ノ締約國ニ

對シ従前ノ年次計畫及宣言ニ包含セラルル一切ノ艦船ニシテ未ダ起工セラレザリシカ又ハ取得セラレザリシモ當該年次計畫ノ包含スル期間中ニ於テ起工シ又ハ取得スルノ意思アルモノヲ通知スベシ

第十六條

第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ニ屬スル艦船ノ龍骨ノ据附前ニ第十二條 (ロ)ニ依リ通報セラレタル右艦船ニ關スル細目ニ付重要ナル變更ガ加ヘラルルトキハ右變更ニ關スル情報ハ與ヘラルベク且龍骨ノ据附ハ右情報ガ他ノ一切ノ締約國ニ到達シタル後少クトモ四月ヲ經過スル迄延期セラルベシ

第十七條

締約國ハ第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ノ艦船ニシテ豫メ當該年度ノ年次建造計畫若ハ取得宣言又ハ右年度前ノ年次計畫若ハ宣言ニ包含セラレザリシモノヲ起工シ又ハ取得スルコトナカルベシ

第十八條

第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ニ屬スル艦船ノ建造、現代化又ハ改造ニシテ本條約ノ締

約國ニ非ザル國ノ註文ニ依ルモノガ何レカノ締約國ノ法域内ニ於テ爲サル場合ニハ右締約國ハ速ニ當該契約ノ署名ノ日ヲ他ノ一切ノ締約國ニ通報シ且成ルベク速ニ右艦船ニ關シ第十二條(ロ)、(ハ)及(ニ)ニ掲ゲラルル一切ノ情報ヲモ供給スベシ

第十九條

各締約國ハ自國ノ一切ノ戦闘用小艦船及補助艦船ノ表ニシテ右艦船ノ第十二條(ロ)ニ列擧セラルル特性及右艦船ニ充テントスル特定任務ニ關スル情報ヲ併記スルモノヲ他ノ一切ノ締約國ニ本條約ノ實施ノ日後一月以内ニ到達スル様與フベク且右表ノ修正及情報ノ變更ヲ他ノ一切ノ締約國ニ爾後毎年一月中ニ到達スル様與フベシ

第二十條

各締約國ハ第十二條(イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ノ一切ノ艦船ニシテ自國ノ法域内ニ於テ建造中ノモノタルト否トヲ問ハズ本條約ノ實施ノ日ニ於テ自國ノ爲ニ建造中ノモノノ第十二條(ロ)所掲ノ細目及本條約ノ締約國ニ非ザル國ノ爲ニ右ノ日ニ自國ノ法域内ニ於テ建造中ノ右艦種又ハ艦級ノ艦船ニ關スル同様ノ細目ヲ他ノ各締約國ニ右ノ日後一月以内ニ到達スル様之ニ通報スベシ

第二十一條

- (一) 各締約國ハ自國ノ最初ノ年次建造計畫及取得宣言ヲ通報スルニ當リテハ第十二條(イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ノ艦船ニシテ既ニ公認セラレ右計畫ノ包含スル期間中ニ起工シ又ハ取得スルノ意思アルモノヲ他ノ各締約國ニ通報スベシ
- (二) 本條約本編ハ各締約國ガ自國ノ當初ノ年次建造計畫又ハ取得宣言ニ包含セラルル若ハ包含セラルベキ又ハ既ニ公認セラレタル艦船ヲ本條約ノ實施ノ日後四月中何時ニテモ起工シ又ハ取得スルコトヲ妨ゲザルベシ但シ各艦船ニ關スル情報ニシテ第十二條(ロ)ニ規定セラルルモノハ他ノ一切ノ締約國ニ本條約ノ實施ノ日後一月以内ニ到達スル様通報セラルベシ
- (三) 本條約ガ千九百三十七年五月一日前ニ實施セラレザル場合ニハ第十二條(イ)及第十四條ニ依リ通報セラルベキ當初ノ年次建造計畫及取得宣言ハ他ノ一切ノ締約國ニ本條約ノ實施ノ日後一月以内ニ到達スルヲ要ス

第四編

一般條項及保障條項

第二十二條

締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハズ外國海軍ニ於テ水上軍艦又ハ潜水艦

ト爲スヲ得ルガ如キ方法ニ依リ其ノ水上軍艦又ハ潛水艦ヲ處分スルコトナカルベシ本規定ハ補助艦船ニハ之ヲ適用セザルベシ

第二十三條

- (一) 本條約ハ艦船ガ其ノ艦齡超過ト爲ル前ニ亡シ又ハ不慮ノ事變ニ依リ破壊シタル場合ニ於テ該艦船ヲ同一ノ艦種又ハ艦級ノ艦船ヲ以テ右艦船ニ關スル第十二條(ロ)所掲ノ細目ガ他ノ一切ノ締約國ニ到達シタルトキ直ニ代換スルノ權利ヲ害スルコトナカルベシ
- (二) 前號ノ規定ハ同様ノ場合ニ於テ(乙)級輕水上艦ニシテ基準排水量八千トン(八千二百二十八メートル式トン)ヲ超ユルモノ又ハ(甲)級輕水上艦ガ艦齡超過ト爲ル前ナルトキハ一萬トン(一萬百六十メートル式トン)ニ至ル迄ノ基準排水量ヲ有スル同一艦級ノ輕水上艦ヲ以テ之ヲ即時代換スル場合ニモ適用セラルベシ

第二十四條

- (一) 何レカノ締約國ガ戰爭ニ從事スルニ至リタル場合ニ右締約國ハ自國ノ國防ニ關スル海軍ノ要件ガ重大ナル影響ヲ受ケタリト認ムルニ於テハ自國ノ關スル限リ本條約ノ義務ノ何レカ又ハ全部ヲ停止スルコトヲ得但シ右締約國ハ狀況ガ右停止ヲ必要ナラシムルモノナルコトヲ他ノ締約

國ニ速ニ通告スベク且停止ヲ必要ナリト思考スル義務ヲ明示スベシ

- (二) 右ノ場合ニ於テハ他ノ締約國ハ速ニ協議シ本條約ノ義務ニシテ右各締約國ガ停止スルコトアルベキモノアルトキハ之ニ關シ合意ニ到達スルノ目的ヲ以テ右ニ依リ生ジタル事態ヲ檢討スベシ右協議ニ依リ合意ニ到達スルニ至ラザルトキハ右何レノ締約國モ自國ノ關スル限リ本條約ノ義務ノ何レカ又ハ全部ヲ停止スルコトヲ得但シ右締約國ハ停止ヲ必要ト思考スル義務ヲ速ニ他ノ締約國ニ通告スベシ
- (三) 敵對行爲終了ノ上ハ締約國ハ條約ノ義務ニシテ停止セラレ居ルモノガ再ビ實施セララルルニ至ルベキ日ヲ決定シ且本條約中ノ改正ニシテ必要ト思考セララルコトアルベキモノニ關シ合意ニ到達スルノ目的ヲ以テ協議スベシ

第二十五條

- (一) 本條約第四條、第五條及第七條ニ依リ規定セララル基準排水量及兵裝ニ關スル限度及制限ニ從ハザル艦船ガ本條約ノ締約國ニ非ザル國ニ依リ公認セラレ、建造セラレ又ハ取得セララル場合ニ各締約國ハ自國ノ安全ノ要件ニ應ズル爲離脱ヲ必要ト認ムルニ於テハ右必要ノ範圍ニ於テ左記ヨリ離脱スルノ權利ヲ留保ス

- (イ) 條約ノ殘存期間中第三條、第四條、第五條、第六條 (一) 及第七條ノ限度及制限竝ニ
(ロ) 當該年中自國ノ年次建造計畫及取得宣言

右權利ハ以下ノ規定ニ從ヒ行使セラルベシ

- (二) 右權利ヲ行使スルコトヲ必要ト認ムル締約國ハ他ノ締約國ニ其ノ旨ヲ、爲サントスル離脱ノ性質及範圍竝ニ其ノ理由ヲ正確ニ示シテ通告スベシ

- (三) 右ノ場合ニハ締約國ハ協議シ爲サルコトアルベキ離脱ノ範圍ヲ最小限度迄縮減スルノ目的ヲ以テ協定ニ到達スル爲努力スベシ

- (四) 前記 (二) ニ依リ爲サレタルコトアルベキ通告ノ最初ノモノノ日ヨリ三月ノ期間ノ滿了シタルトキハ各締約國ハ締結セラレタルコトアルベキ反對ノ協定ヲ別トシ本條約ノ殘存期間中本條約第三條、第四條、第五條、第六條 (一) 及第七條ニ規定セララルル限度及制限ヨリ離脱スルノ權利ヲ有スベシ

- (五) 前號ニ掲ゲラルル期間ガ滿了シタルトキハ各締約國ハ前記 (三) ニ規定セララルル協議中ニ締結セラレタルコトアルベキ協定ヲ別トシ且他ノ一切ノ締約國ニ通報スルニ於テハ自國ノ年次建造計畫及取得宣言ヨリ離脱スルコト竝ニ建造中ノ又ハ既ニ自國ノ計畫若ハ宣言中ニ掲ゲラレタル

艦船ノ特性ヲ變更スルコト自由タルベシ

- (六) スカル場合ニ於テハ本條約第三編ノ規定ノ何レニ依リテモ艦船ノ取得、龍骨据附又ハ改造ノ延期ハ必要トセララルコトナカルベシ但シ第十二條 (ロ) ニ掲ゲラルル細目ハ艦船ノ龍骨ノ据附ニ先テ他ノ一切ノ締約國ニ通報セラルベシ取得ニ付テハ當該艦船ニ關スル情報ハ第十四條ノ規定ニ依リ與ヘラルベシ

第二十六條

- (一) 何レカノ締約國ニ於テ本條約第六條 (二)、第二十四條及第二十五條ニ規定セララルモノ以外ノ狀況ノ變化ニ依リ自國ノ安全ノ要件ガ重大ナル影響ヲ受ケタリト認ムルトキハ右締約國ハ當該年中自國ノ年次建造計畫及取得宣言ヨリ離脱スルノ權利ヲ有スベシ但シ本條約ノ締約國ニ依ル該條約ノ限度及制限内ノ建造量ハ本條ノ適用ニ付テハ狀況ノ變化ヲ構成セザルベシ前記ノ權利ハ以下ノ規定ニ從ヒ行使セラルベシ

- (二) 右締約國ハ前記權利ヲ行使セント欲スルトキハ他ノ一切ノ締約國ニ其ノ旨ヲ、自國ガ如何ナル點ニ付其ノ年次計畫及取得宣言ヨリ離脱セントスルカヲ之ガ理由ト共ニ示シテ通告スベシ

- (三) 右ノ場合ニハ締約國ハ事態ニ應ズル爲離脱ヲ必要トスルカ否カニ關シ合意ニ到達スルノ目的

ヲ以テ協議スベシ

- (四) 前記(二)ニ依リ爲サレタルコトアルベキ通告ノ最初ノモノノ日ヨリ三月ノ期間ノ滿了シタルトキハ各締約國ハ締結セラレタルコトアルベキ反對ノ協定ヲ別トシ自國ノ年次建造計畫及取得宣言ヨリ離脱スルノ權利ヲ有スベシ但シ如何ナル點ニ付自國ガ右ノ如ク離脱セントスルカヲ正確ニ示セル通告ヲ他ノ締約國ニ速ニ與フベシ
- (五) 斯カル場合ニ於テハ本條約第三編ノ規定ノ何レニ依リテモ艦船ノ取得、龍骨据附又ハ改造ノ延期ハ必要トセラルルコトナカルベシ但シ第十二條(ロ)ニ掲ゲラルル細目ハ艦船ノ龍骨ノ据附ニ先チ他ノ一切ノ締約國ニ通報セラルベシ取得ニ付テハ當該艦船ニ關スル情報ハ第十四條ノ規定ニ依リ與ヘラルベシ

第五編

最終條項

第二十七條

本條約ハ千九百四十二年十二月三十一日迄引續キ效力ヲ有スベシ

第二十八條

- (一) 「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ハ海軍軍備ノ縮少及制限ニ關スル新條約ヲ作成スル爲會議ヲ開催スルノ目的ヲ以テ千九百四十年ノ最後ノ三月中ニ外交手續ニ依リ本條約當事國ノ政府間ニ於ケル協議ヲ發議スベシ右會議ハ豫備協議ニ依リ右ノ如キ會議ヲ右時期ニ開催スルコトガ望マシカラズ又ハ實行シ得ザルモノナルコト明ト爲リタルニ非ザル限り千九百四十一年ニ行ハルベシ
- (二) 前號ニ掲ゲラルル協議ニ於テハ當時ノ狀況竝ニ主力艦ノ設計及建造ニ關シ當該時迄ノ期間中ニ得ラレタル經驗ニ照シ將來ノ年次計畫ニ依リ建造セラルベキ主力艦ノ基準排水量又ハ備砲ノ口徑ヲ縮少スルコトヲ協定シ得ルカ否カ及之ニ依リ爲シ得バ主力艦費ニ縮減ヲ齎シ得ルカ否カニ關シ決定スル爲意見ガ交換セラルベシ

第二十九條

本條約ノ規定ハ將來ノ何レノ條約ニ關シテモ先例ト爲ルコトナカルベシ

第三十條

- (一) 本條約ハ署名國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セラルベク且批准書ハ成ルベク速ニ聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ニ寄託セラルベシ右政府ハ一切ノ批准書寄託調書ノ認證謄本ヲ

右署名國及第三十一條ノ規定ニ從ヒ加入シタル國ノ政府ニ送付スベシ

- (二) 本條約ハ千九百三十七年一月一日迄ニ右一切ノ國ノ批准書ガ寄託セラレタルトキハ右ノ日ヨリ實施セラルベシ前記一切ノ批准書ガ千九百三十七年一月一日迄ニ寄託セラレザリシトキハ本條約ハ爾後右一切ノ批准書ガ受領セラレタルトキ直ニ實施セラルベシ

第三十一條

- (一) 本條約ハ千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ署名セラレタル海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約ニ署名シタルモ本條約ニ署名セザリシ國ノ加入ノ爲本日ヨリ後何時ニテモ開キ置カルベシ加入書ハ聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ニ寄託セラルベク右政府ハ寄託調書ノ認證謄本ヲ署名國及加入シタル國ノ政府ニ送付スベシ

- (二) 加入ハ本條約ノ實施ノ日前ニ行ハルルトキハ右ノ日ニ效力ヲ發生スベク爾後ニ行ハルルトキハ直ニ效力ヲ發生スベシ

- (三) 加入ガ本條約ノ實施ノ日後ニ行ハルルトキハ加入スル國ハ左ノ情報ヲ一切ノ他ノ締約國ニ加入ノ日後一月以内ニ到達スル様與フベシ

(イ) 第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ニ屬スル艦船ニシテ既ニ公認セラレタルモ未ダ起

工セラレザリシカ又ハ取得セラレザリシモノニ關スル第十二條 (イ) 及第十四條所定ノ當初ノ年次建造計畫及取得宣言

- (ロ) 前記ノ艦種又ハ艦級ノ艦船ノ表ニシテ本條約ノ實施ノ日後ニ竣工セラレ又ハ取得セラレタル右艦船ニ關スル第十二條 (ロ)ニ明示ノ細目及本條約ノ當事國ニ非ザル國ノ爲ニ本條約ノ實施ノ日後當該加入國ノ法域内ニ於テ建造セラレタル右艦種又ハ艦級ノ艦船ニ關スル同様ノ細目ヲ示セルモノ

- (ハ) 加入國ノ法域内ニ於テ建造中ノモノタルト否トヲ問ハズ加入ノ時ニ該國ノ爲ニ建造中ナル前記ノ艦種又ハ艦級ノ一切ノ艦船ニ關スル第十二條 (ロ)ニ明示ノ細目及本條約ノ當事國ニ非ザル國ノ爲ニ右加入國ノ法域内ニ於テ該時ニ建造中ナル右艦種又ハ艦級ノ艦船ニ關スル同様ノ細目

- (ニ) 一切ノ戰鬪用小艦船及補助艦船ノ表ニシテ右艦船ノ特性及之ニ關スル情報ヲ併記スル第九條所定ノモノ

- (四) 各締約國ハ本條約ノ實施ノ日後ニ加入シタル國ノ政府ニ對シ前記 (三)ニ明示セラルル情報ヲ右政府ニ同號ニ掲ゲラルル期間内ニ到達スル様相互的ニ提供スベシ

(五) 本條約第三編ハ加入國ガ自國ノ當初ノ年次建造計畫又ハ取得宣言ニ包含セララルル若ハ包含セラルベキ又ハ既ニ公認セラレタル艦船ヲ加入ノ日後四月中何時ニテモ起工シ又ハ取得スルコトヲ妨ゲザルベシ但シ各艦船ニ關スル情報ニシテ第十二條(ロ)ニ依リ規定セララルモノハ他ノ一切ノ締約國ニ加入ノ日後一月以内ニ到達スル様通報セラルベシ

第三十二條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ均シク正文トシ「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ノ記録ニ寄託セラルベク右政府ハ右條約ノ認證膳本ヲ千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約ニ署名シタル國ノ政府ニ送付スベシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

千九百三十六年三月二十五日「ロンドン」ニ於テ作成ス

- ノーマン、エイチ、デーヴィス (印)
- ウィリアム、エイチ、スタンドリイ (印)
- シャルル、コルバン (印)
- ロベール、ジェー (印)
- アントニー、イードゥン (印)
- モンセル (印)
- スタナブ (印)
- ヴァインセント、マッシー (印)
- エス、エム、ブルース (印)
- シー、ジェー、バー (印)
- アール、エー、バトラー (印)

署名議定書

本日ノ日附ヲ有スル條約ニ署名スルニ當リ之ガ爲各自ノ政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケタル下名ハ左ノ如ク協定セリ

一 前記條約ノ實施前ニ何レカノ國ノ海軍艦船建造又ハ何等カノ狀況變化ガ現在ノ形式ニ於ケル本條約ノ實施ヲ望マシカラザルモノタラシムルガ如シト認メラルル場合ニハ右條約ニ署名シタル國ハ右ニ依リ生ジタル事態ニ應ズル爲本條約ノ條項ノ何レカヲ修正スルコトノ望マシキカ否カニ關シ協議スベシ

二 本條約ガ千九百三十七年一月一日ニ實施セラレザル場合ニハ暫定的措置トシテ前記諸國ハ本條約第十二條 (イ)ニ掲ゲラルル艦種又ハ艦級ノ一切ノ艦船ニシテ千九百三十七年一月一日ト本條約ノ實施ノ日トノ間ニ起工セラルルモノニ關スル左ニ詳記セラルル情報ヲ右艦船ノ起工、取得又ハ竣工後速ニ相互ニ通報スベシ但シ本義務ハ千九百三十七年七月一日後ニハ繼續セザルベシ

艦名又ハ呼稱

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

艦船ノ艦種別

トン及メートル式トンニ依ル基準排水量

基準排水量ニ於ケル主要寸法即チ水線全長及水線又ハ水線下ノ最大幅員

基準排水量ニ於ケル平均吃水

最大備砲ノ口径

三 本議定書ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ均シク正文トシ本日ヨリ實施セラルベシ本議定書ハ「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ノ記録ニ寄託セラルベク右政府ハ右議定書ノ認證謄本ヲ千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約ニ署名シタル國ノ政府ニ送付スベシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本議定書ニ署名調印セリ

千九百三十六年三月二十五日「ロンドン」ニ於テ作成ス

ノーマン、エイチ、デーヴィス	(印)
ウィリアム、エイチ、スタンドリ	(印)
シャルル、コルバン	(印)
ロベール、ジエ	(印)
アントニー、イードゥン	(印)
モンセル	(印)
スタナブ	(印)
ヴィンセント、マッシー	(印)
エス、エム、ブルース	(印)
シー、ジエ、バー	(印)
アール、エー、バトラ	(印)

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

追加議定書

下名ノ全權委員ハ事前通報及情報交換ノ制度ガ本日ノ日附ヲ有スル條約ノ失効後モ國際約定ニ依リ繼續セラレンコト竝ニ將來ノ條約ニ於テ海軍軍備ニ付更ニ或程度ノ縮少ガ成就セラレンコトノ希望ヲ表明ス

千九百三十六年三月二十五日「ロンドン」ニ於テ作成ス

ノーマン、エイチ、デーヴィス
ウィリアム、エイチ、スタンドリ
シャルル、コルバン
ロベール、ジェー
アントニー、イードゥン
モンセル

千九百三十六年「ロンドン」海軍條約、署名議定書及追加議定書

スタナブ

ヴァインセント、マッシー

エス、エム、ブルース

シー、ジェー、バー

アール、エー、バトラー

PROTOCOLE ADDITIONNEL.

Les Plénipotentiaires soussignés expriment l'espoir que le jeu des préavis et des échanges de renseignements se poursuivra par voie d'accord international après l'expiration du Traité portant la date de ce jour, et que, dans tout traité ultérieur, il sera possible de parvenir à de nouvelles réductions dans les armements navals.

Fait à Londres, le 25 mars mil neuf cent trente-six.

NORMAN H. DAVIS
WILLIAM H. STANDLEY
CHARLES CORBIN
ROBERT G.
ANTHONY EDEN
MONSELL
STANHOPE
VINCENT MASSEY
S. M. BRUCE
C. J. PARR
R. A. BUTLER

ADDITIONAL PROTOCOL.

The undersigned Plenipotentiaries express the hope that the system of Advance Notification and Exchange of Information will be continued by international agreement after the expiration of the Treaty bearing this day's date, and that it may be possible in any future Treaty to achieve some further measure of reduction in naval armament.

Done in London the 25th day of March, nineteen hundred and thirty-six.

NORMAN H. DAVIS
WILLIAM H. STANDLEY
CHARLES CORBIN
ROBERT G.
ANTHONY EDEN
MONSELL
STANHOPE
VINCENT MASSEY
S. M. BRUCE
C. J. PARR
R. A. BUTLER

à savoir :

longueur à la ligne de flottaison

largeur maxima à ou sous la ligne de flottaison

Tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type.

Calibre du plus gros canon.

3. Le présent Protocole, dont les textes français et anglais feront également foi, entrera en vigueur à la date de ce jour. Il sera déposé dans les archives du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande Bretagne et d'Irlande du Nord, qui en transmettra des expéditions authentiques aux Gouvernements des pays au nom desquels le Traité pour la limitation et la réduction des armements navals a été signé à Londres le 22 avril 1930.

En foi de quoi, les Plénipotentiaires sus-nommés ont signé le présent protocole et y ont apposé leurs cachets.

Fait à Londres, le 25 mars mil neuf cent trente-six.

(L. S.) NORMAN H. DAVIS.
(L. S.) WILLIAM H. STANDLEY
(L. S.) CHARLES CORBIN
(L. S.) ROBERT G.
(L. S.) ANTHONY EDEN
(L. S.) MONSELL
(L. S.) STANHOPE
(L. S.) VINCENT MASSEY
(L. S.) S. M. BRUCE
(L. S.) C. J. PARR
(L. S.) R. A. BUTLER

length at waterline and extreme beam at or below waterline ;

Mean draught at standard displacement ;

Calibre of the largest gun.

3. The present Protocol, of which the French and English texts shall both be equally authentic, shall come into force on this day's date. It shall be deposited in the archives of His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland which will transmit certified copies thereof to the Governments of the countries for which the Treaty for the Limitation and Reduction of Naval Armament was signed in London on the 22nd April, 1930.

In faith whereof the above-named Plenipotentiaries have signed the present Protocol and have affixed thereto their seals.

Done in London the 25th day of March, nineteen hundred and thirty-six.

(L. S.) NORMAN H. DAVIS
(L. S.) WILLIAM H. STALDLEY
(L. S.) CHARLES CORBIN
(L. S.) ROBERT G.
(L. S.) ANTHONY EDEN
(L. S.) MONSELL
(L. S.) STANHOPE
(L. S.) VINCENT MASSEY
(L. S.) S. M. BRUCE
(L. S.) C. J. PARR
(L. S.) R. A. BUTLER

PROTOCOLE DE SIGNATURE.

Au moment de signer le Traité qui porte la date de ce jour, les soussignés, dûment autorisés à cet effet par leurs Gouvernements respectifs, sont convenus des dispositions suivantes :

1. Si, avant d'entrée en vigueur du Traité susmentionné, les constructions navales d'une Puissance, ou un changement de circonstances, paraissent de nature à ne pas rendre désirable l'entrée en vigueur du Traité dans sa forme actuelle, les Puissances au nom desquelles le Traité a été signé se consulteront afin de déterminer s'il convient de modifier l'une quelconque de ses dispositions pour faire face à la situation qui se présenterait.

2. Au cas où le Traité n'entrerait pas en vigueur le 1^{er} janvier 1937, et à titre provisoire, les Puissances susmentionnées se communiqueront rapidement, après la mise sur cale, l'acquisition ou l'achèvement de bâtiments des classes et sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12 du Traité, les renseignements ci-dessous concernant lesdits bâtiments mis sur cale entre le 1^{er} janvier 1937 et la date d'entrée en vigueur du Traité ; il est entendu toutefois que cette obligation cessera ses effets après le 1^{er} juillet 1937.

Nom ou appellation.

Classe et sous-classe.

Déplacement type en tonnes et en tonnes métriques.

Dimensions principales correspondant au déplacement type,

PROTOCOL OF SIGNATURE.

At the moment of signing the Treaty bearing this day's date, the undersigned, duly authorised to that effect by their respective Governments, have agreed as follows :—

1. If, before the coming into force of the above-mentioned Treaty, the naval construction of any Power, or any change of circumstances, should appear likely to render undesirable the coming into force of the Treaty in its present form, the Powers on behalf of which the Treaty has been signed will consult as to whether it is desirable to modify any of its terms to meet the situation thus presented.

2. In the event of the Treaty not coming into force on the 1st January, 1937, the above-mentioned Powers will, as a temporary measure, promptly communicate to one another, after the laying down, acquisition or completion of any vessels in the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a) of the Treaty, the information detailed below concerning all such vessels laid down between the 1st January, 1937 and the date of the coming into force of the Treaty, provided, however, that this obligation shall not continue after 1st July, 1937 :—

Name or designation ;

Classification of the vessel ;

Standard displacement in tons and metric tons ;

Principal dimensions at standard displacement, namely

fournis à temps pour parvenir à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le mois qui suivra la date de son accession.

ARTICLE 32

Le présent Traité, dont les textes français et anglais feront également foi, sera déposé dans les archives du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord, qui en transmettra des expéditions authentiques aux gouvernements des pays au nom desquels le Traité pour la limitation et la réduction des armements navals a été signé à Londres le 22 avril 1930.

En foi de quoi, les Plénipotentiaires sus-nommés ont signé le présent Traité et y ont apposé leurs cachets.

Fait à Londres, le 25 mars mil neuf cent trente-six.

(L. S.) NORMAN H. DAVIS
(L. S.) WILLIAM H. STANDLEY
(L. S.) CHARLES CORBIN
(L. S.) ROBERT G.
(L. S.) ANTHONY EDEN
(L. S.) MONSELL
(L. S.) STANHOPE
(L. S.) VINCENT MASSEY
(L. S.) S. M. BRUCE
(L. S.) C. J. PARR
(L. S.) R. A. BUTLER

of accession.

ARTICLE 32

The present Treaty, of which the French and English texts shall both be equally authentic, shall be deposited in the Archives of His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland which will transmit certified copies thereof to the Governments of the countries for which the Treaty for the Limitation and Reduction of Naval Armament was signed in London on the 22nd April, 1930.

In faith whereof the above-named Plenipotentiaries have signed the present Treaty and have affixed thereto their seals.

Done in London the 25th day of March, nineteen hundred and thirty-six.

(L. S.) NORMAN H. DAVIS
(L. S.) WILLIAM H. STANDLEY
(L. S.) CHARLES CORBIN
(L. S.) ROBERT G.
(L. S.) ANTHONY EDEN.
(L. S.) MONSELL
(L. S.) STANHOPE
(L. S.) VINCENT MASSEY
(L. S.) S. M. BRUCE
(L. S.) C. J. PARR
(L. S.) R. A. BUTLER

tion de la Puissance qui accède, après la date d'entrée en vigueur du présent Traité, pour le compte d'une Puissance non partie audit Traité.

(c) Les caractéristiques prévues au paragraphe (b) de l'article 12 concernant tous bâtiments des classes et sous-classes susmentionnées, en construction à ce moment pour le compte de la Puissance qui accède, que ces bâtiments soient ou non construits dans le ressort de sa juridiction, ainsi que les mêmes caractéristiques concernant de tels bâtiments en construction à ce moment, dans le ressort de sa juridiction, pour le compte d'une Puissance non partie au présent Traité.

(d) Des listes de tous les petits navires de combat et bâtiments auxiliaires avec les caractéristiques et les informations les concernant, comme prévu à l'article 19.

4. A titre de réciprocité, chacune des Hautes Parties Contractantes fournira au Gouvernement de tout pays au nom duquel il aura été accédé au Traité après la date d'entrée en vigueur de celui-ci, les renseignements indiqués au paragraphe (3) ci-dessus, à temps pour qu'ils parviennent à ce Gouvernement dans le délai visé audit paragraphe.

5. Aucune disposition de la partie III du présent Traité n'empêchera la Puissance qui accède audit Traité de mettre sur cale ou d'acquérir, à tout moment dans les quatre mois qui suivront la date de son accession, tout bâtiment précédemment autorisé, ou compris, ou à comprendre dans son premier programme annuel de construction ou sa première déclaration d'acquisition, à condition que les renseignements prescrits au paragraphe (b) de l'article 12 soient, pour chaque bâtiment,

after the date of the coming into force of the present Treaty, for a Power not a party thereto.

(c) Particulars, as specified in Article 12 (b), of all vessels of the categories or sub-categories above-mentioned which are then under construction for the acceding Power, whether or not such vessels are being constructed within His own jurisdiction, together with similar particulars relating to any such vessels then under construction within His jurisdiction for a Power not a party to the present Treaty.

(d) Lists of all minor war vessels and auxiliary vessels with their characteristics and information concerning them, as prescribed by Article 19.

(4) Each of the High Contracting Parties shall reciprocally furnish to the Government of any country on behalf of which accession is made after the date of the coming into force of the present Treaty, the information specified in paragraph (3) above, so as to reach that Government within the period therein mentioned.

(5) Nothing in Part III of the present Treaty shall prevent an acceding Power from laying down or acquiring, at any time during the four months following the date of accession, any vessel included, or to be included, in his initial Annual Programme of construction or declaration of acquisition, or previously authorised, provided that the information prescribed by Article 12 (b) concerning each vessel shall be communicated so as to reach all the other High Contracting Parties within one month after the date

signé à Londres le 22 avril 1930, mais au nom duquel le présent Traité n'a pas été signé. L'instrument d'accession sera déposé auprès du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni, qui transmettra une expédition authentique des procès-verbaux de dépôt aux gouvernements des Puissances signataires ainsi que de tout autre pays au nom duquel il aura été accédé au traité.

2. Si une accession intervient avant la date d'entrée en vigueur du Traité, elle prendra effet à cette date. Si elle est faite postérieurement à ladite date, elle prendra effet immédiatement.

3. Si une accession intervient après la date d'entrée en vigueur du Traité, les renseignements suivants seront fournis par la Puissance qui accède, à temps pour parvenir à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le mois qui suivra la date d'accession :

(a) Le premier programme annuel de construction et la première déclaration d'acquisition, comme prévu au paragraphe (a) de l'article 12 et à l'article 14, en ce qui concerne les bâtiments des classes et sous-classes mentionnées audit article 12 qui, déjà autorisés, n'ont pas encore été mis sur cale ou acquis.

(b) Une liste des bâtiments des classes et sous-classes susmentionnées, achevés ou acquis après la date d'entrée en vigueur du présent Traité, indiquant les caractéristiques de ces bâtiments, comme spécifié au paragraphe (b) de l'article 12, ainsi que les mêmes caractéristiques concernant de tels bâtiments qui ont été construits dans le ressort de la juridic-

was signed in London on the 22nd April, 1930, but for which the present Treaty has not been signed. The instrument of accession shall be deposited with His Majesty's Government in the United Kingdom, which will transmit certified copies of the *procès-verbaux* of the deposit to the Governments of the Signatory Powers and of any country on behalf of which accession has been made.

(2) Accessions, if made prior to the date of the coming into force of the Treaty, shall take effect on that date. If made afterwards, they shall take effect immediately.

(3) If accession should be made after the date of the coming into force of the Treaty, the following information shall be given by the acceding Power so as to reach all the other High Contracting Parties within one month after the date of accession:—

(a) The initial Annual Programme of construction and declaration of acquisition, as prescribed by Articles 12 (a) and 14, relating to vessels already authorised, but not yet laid down or acquired, belonging to the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a).

(b) A list of the vessels of the above-mentioned categories or sub-categories completed or acquired after the date of the coming into force of the present Treaty, stating particulars of such vessels as specified in Article 12 (b), together with similar particulars relating to any such vessels which have been constructed within the jurisdiction of the acceding Power

parvenir par là, si possible, à une réduction du coût des bâtiments de ligne.

ARTICLE 29

Aucune disposition du présent Traité ne constituera un précédent pour tout traité futur.

ARTICLE 30

1. Le présent Traité sera ratifié par les Puissances signataires selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues, et les instruments de ratification en seront déposés le plus tôt possible auprès du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni, qui transmettra des expéditions authentiques de tous les procès-verbaux de dépôt des ratifications aux gouvernements desdites Puissances ainsi que de tout pays au nom duquel il aura été accédé au Traité conformément aux dispositions de l'article 31.

2. Le présent Traité entrera en vigueur le 1^{er} janvier 1937 si les instruments de ratification de toutes lesdites Puissances ont été déposés à cette date. Si, au 1^{er} janvier 1937, tous les instruments de ratification sus-mentionnés n'ont pas été déposés, le Traité entrera en vigueur dès que tous ces instruments auront été reçus

ARTICLE 31

1. A compter de ce jour, le présent Traité sera à tout moment ouvert à l'accession de tout pays au nom duquel le Traité pour la limitation et la réduction des armements navals a été

capital ships.

ARTICLE 29

None of the provisions of the present Treaty shall constitute a precedent for any future treaty.

ARTICLE 30

(1) The present Treaty shall be ratified by the Signatory Powers in accordance with their respective constitutional methods, and the instruments of ratification shall be deposited as soon as possible with His Majesty's Government in the United Kingdom, which will transmit certified copies of all the *procès-verbaux* of the deposits of ratifications to the Governments of the said Powers and of any country on behalf of which accession has been made in accordance with the provisions of Article 31.

(2) The Treaty shall come into force on the 1st January, 1937, provided that by that date the instruments of ratification of all the said Powers shall have been deposited. If all the above-mentioned instruments of ratification have not been deposited by the 1st January, 1937, the Treaty shall come into force so soon thereafter as these are all received.

ARTICLE 31

(1) The present Treaty shall, at any time after this day's date, be open to accession on behalf of any country for which the Treaty for the Limitation and Reduction of Naval Armament

PARTIE V

DISPOSITIONS FINALES

ARTICLE 27

Le présent Traité demeurera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1942.

ARTICLE 28

1. Au cours du dernier trimestre de 1940, le Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande Bretagne et d'Irlande du Nord ouvrira une consultation, par la voie diplomatique, entre les Gouvernements des Parties au présent Traité, en vue de réunir une conférence pour élaborer un nouveau traité pour la réduction et la limitation des armements navals. Cette conférence se tiendra en 1941, à moins qu'au cours de cette consultation préliminaire, il apparaisse qu'il ne soit ni désirable, ni praticable, de réunir une telle conférence à ce moment.

2. Au cours de la consultation prévue au paragraphe précédent, les Hautes Parties Contractantes échangeront leurs vues afin de déterminer si, à la lumière des circonstances du moment ainsi que de l'expérience acquise d'ici là dans l'établissement des plans et dans la construction de bâtiments de ligne, il serait possible de se mettre d'accord sur une réduction du déplacement type ou du calibre de l'artillerie des bâtiments de ligne dont les programmes annuels futurs prévoieraient la construction, et de

PART V

FINAL CLAUSES

ARTICLE 27

The present Treaty shall remain in force until the 31st December, 1942.

ARTICLE 28

(1) His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland will, during the last quarter of 1940, initiate through the diplomatic channel a consultation between the Governments of the Parties to the present Treaty with a view to holding a conference in order to frame a new treaty for the reduction and limitation of naval armament. This conference shall take place in 1941 unless the preliminary consultations should have shown that the holding of such a conference at that time would not be desirable or practicable.

(2) In the course of the consultation referred to in the preceding paragraph, views shall be exchanged in order to determine whether, in the light of the circumstances then prevailing and the experience gained in the interval in the design and construction of capital ships, it may be possible to agree upon a reduction in the standard displacement or calibre of guns of capital ships to be constructed under future annual programmes and thus, if possible, to bring about a reduction in the cost of

2. Ladite Haute Partie Contractante, si elle estime nécessaire d'exercer ce droit, le notifiera à toutes les autres Hautes Parties Contractantes, en indiquant dans quelle mesure elle se propose de déroger à ses programmes annuels de déroger à ses programmes annuels de construction et à ses déclarations d'acquisition en fournissant les motifs des dérogations projetées.

3. Après quoi les Hautes Parties Contractantes se consulteront en vue de déterminer d'un commun accord si des dérogations sont nécessaires pour faire face à la situation.

4. A l'expiration d'un délai de trois mois à compter de la date à laquelle aura été faite la première des notifications prévues au paragraphe (2) ci-dessus, chacune des Hautes Parties Contractantes sera, à moins d'accord contraire, fondée à déroger à ses programmes annuels de construction et à ses déclarations d'acquisition, à condition d'en donner rapidement avis aux autres Hautes Parties Contractantes, en indiquant avec précision dans quelle mesure elle entend y déroger.

5. En pareil cas, aucune des dispositions de la partie III du présent Traité ne pourra être invoquée pour imposer un retard dans l'acquisition, la mise sur cale ou la modification d'aucun bâtiment. Toutefois, les renseignements prévus au paragraphe (b) de l'article 12 seront communiqués à toutes les autres Hautes Parties Contractantes avant la mise sur cale de tout bâtiment. En cas d'acquisition, les renseignements relatifs aux bâtiments acquis seront fournis conformément aux dispositions de l'article 14.

(2) Such High Contracting Party shall, if He desires to exercise the above mentioned right, notify all the other High Contracting Parties to that effect, stating in what respects He proposes to depart from His Annual Programmes of construction and declarations of acquisition, giving reasons for the proposed departure.

(3) The High Contracting Parties will thereupon consult together with a view to agreement as to whether any departures are necessary in order to meet the situation.

(4) On the expiration of a period of three months from the date of the first of any notifications which may have been given under paragraph (2) above, each of the High Contracting Parties shall, subject to any agreement which may have been reached to the contrary, be entitled to depart from His Annual Programmes of construction and declarations of acquisition, provided notice is promptly given to other High Contracting Parties stating precisely in what respects He proposes so to depart.

(5) In such event, no delay in the acquisition, the laying of the keel, or the altering of any vessel shall be necessary by reason of any of the provisions of Part III of the present Treaty. The particulars mentioned in Article 12 (b) shall, however, be communicated to all the other High Contracting Parties before the keels of any vessels are laid. In the case of acquisition, information relating to the vessel shall be given under the provisions of Article 14.

Hautes Parties Contractantes, déroger à ses programmes annuels de construction et à ses déclarations d'acquisition, et modifier les caractéristiques de tous bâtiments en construction ou figurant déjà dans ses programmes ou déclarations.

6. En pareil cas, aucune des dispositions de la partie III du présent Traité ne pourra être invoquée pour imposer un retard dans l'acquisition, la mise sur cale, ou la modification d'aucun bâtiment. Toutefois, les renseignements prévus au paragraphe (b) de l'article 12 seront communiqués à toutes les autres Hautes Parties Contractantes avant la mise sur cale de tout bâtiment. En cas d'acquisition, les renseignements relatifs aux bâtiments acquis seront fournis conformément aux dispositions de l'article 14.

ARTICLE 26

1. Au cas où une Haute Partie Contractante estimerait que les exigences de sa sécurité nationale sont matériellement affectées par un changement de circonstances autre que ceux prévus au paragraphe (2) de l'article 6 et aux articles 24 et 25 du présent Traité, cette Haute Partie Contractante aura le droit de déroger, pendant l'année en cours, à ses programmes annuels de construction et à ses déclarations d'acquisition. Toutefois, le volume des constructions auxquelles une Partie au Traité procéderait en conformité avec les limitations et restrictions établies par ledit Traité, ne saurait constituer un changement de circonstances aux fins du présent article. Le droit sus-mentionné sera exercé conformément aux dispositions ci-après.

informing all the other High Contracting Parties, to depart from His Annual Programmes of construction and declarations of acquisition and to alter the characteristics of any vessels building or which have already appeared in His Programmes or declarations.

(6) In such event, no delay in the acquisition, the laying of the keel, or the altering of any vessel shall be necessary by reason of any of the provisions of Part III of the present Treaty. The particulars mentioned in Article 12 (b) shall, however, be communicated to all the other High Contracting Parties before the keels of any vessels are laid. In the case of acquisition, information relating to the vessel shall be given under the provisions of Article 14.

ARTICLE 26

(1) If the requirements of the national security of any High Contracting Party should, in His opinion, be materially affected by any change of circumstances, other than those provided for in Articles 6 (2), 24 and 25 of the present Treaty, such High Contracting Party shall have the right to depart for the current year from His Annual Programmes of construction and declarations of acquisition. The amount of construction by any Party to the Treaty, within the limitations and restrictions thereof, shall not, however, constitute a change of circumstances for the purposes of the present Article. The above mentioned right shall be exercised in accordance with the following provisions:—

les dérogations nécessaires pour répondre aux exigences de sa sécurité nationale :

(a) pendant le reste de la durée du Traité, aux limitations et restrictions des articles 3, 4, 5, 6 paragraphe (1) et 7 ;

(b) pendant l'année en cours, à ses programmes annuels de construction et à ses déclarations d'acquisition.

Ce droit sera exercé conformément aux dispositions suivantes :

2. Toute Haute Partie Contractante qui estimerait nécessaire d'exercer ce droit, en donnera notification aux autres Hautes Parties Contractantes, en indiquant avec précision la nature, la portée et les motifs des dérogation projetées.

3. Après quoi les Hautes Parties Contractantes se consulteront et s'efforceront d'aboutir à un accord en vue de réduire au minimum la portée des dérogation éventuelles.

4. A l'expiration d'un délai de trois mois à compter de la date à laquelle aura été faite la première des notifications prévues au paragraphe (2) ci-dessus, chacune des Hautes Parties Contractantes sera, à moins d'accord contraire, fondée à déroger, pendant le reste de la durée du présent Traité, aux limitations et restrictions prescrites par les articles 3, 4, 5, 6 paragraphe (1) et 7 dudit Traité.

5. A l'expiration du délai visé au paragraphe précédent, toute Haute Partie Contractante pourra, à moins qu'un accord n'intervienne au cours des consultations prévues au paragraphe (3) ci-dessus, et après en avoir informé toutes les autres

departures necessary in order to meet the requirements of His national security ;

(a) during the remaining period of the Treaty, from the limitations and restrictions of Articles 3, 4, 5, 6 (1) and 7, and

(b) during the current year, from His Annual Programmes of construction and declarations of acquisition.

This right shall be exercised in accordance with the following provisions :—

(2) Any High Contracting Party who considers it necessary that such right should be exercised, shall notify the other High Contracting Parties to that effect, stating precisely the nature and extent of the proposed departures and the reasons therefor.

(3) The High Contracting Parties shall thereupon consult together and endeavour to reach an agreement with a view to reducing to a minimum the extent of the departures which may be made.

(4) On the expiration of a period of three months from the date of the first of any notifications which may have been given under paragraph (2) above, each of the High Contracting Parties shall, subject to any agreement which may have been reached to the contrary, be entitled to depart during the remaining period of the present Treaty from the limitations and restrictions prescribed in Articles 3, 4, 5, 6 (1) and 7 thereof.

(5) On the expiration of the period mentioned in the preceding paragraph, any High Contracting Party shall be at liberty, subject to any agreement which may have been reached during the consultations provided for in paragraph (3) above, and on

gations du présent Traité, à condition de notifier rapidement aux autres Hautes Parties Contractantes que les circonstances exigent cette suspension, et de spécifier les obligations dont elle juge nécessaire de suspendre l'exécution.

2. Dans ce cas, les autres Hautes Parties Contractantes se consulteront rapidement et examineront la situation qui se présente, en vue de s'entendre sur les obligations du présent Traité dont chacune desdites Hautes Parties Contractantes pourrait, le cas échéant, suspendre l'exécution. Au cas où cette consultation n'aboutirait pas à un accord, l'une quelconque desdites Hautes Parties Contractantes pourra suspendre, pour ce qui la concerne, l'exécution d'une ou de toutes les obligations du présent Traité, à condition de donner rapidement avis aux autres Hautes Parties Contractantes des obligations dont elle juge nécessaire de suspendre l'exécution.

3. A la cessation des hostilités, les Hautes Parties Contractantes se consulteront en vue de fixer un date à laquelle les obligations du Traité dont l'exécution a été suspendue entreront de nouveau en vigueur, et de se mettre d'accord sur tous amendements au présent Traité qui seraient jugés nécessaires.

ARTICLE 25

1. Au cas où des bâtiments non conformes aux limitations et restrictions de déplacement type et d'armement prescrites par les articles 4, 5 et 7 du présent Traité seraient autorisés, construits ou acquis par une Puissance non partie audit Traité, chacune des Hautes Parties Contractantes se réserve le droit de déroger, dans le cas et dans la mesure où elle estimerait de tel-

of the present Treaty, provided that He shall promptly notify the other High Contracting Parties that the circumstances require such suspension, and shall specify the obligations it is considered necessary to suspend.

(2) The other High Contracting Parties shall in such case promptly consult together, and shall examine the situation thus presented with a view to agreeing as to the obligations of the present Treaty, if any, which each of the said High Contracting Parties may suspend. Should such consultation not produce agreement, any of the said High Contracting Parties may suspend, in so far as He is concerned, any or all of the obligations of the present Treaty, provided that He shall promptly give notice to the other High Contracting Parties of the obligations which it is considered necessary to suspend.

(3) On the cessation of hostilities, the High Contracting Parties shall consult together with a view to fixing a date upon which the obligations of the Treaty which have been suspended shall again become operative, and to agreeing upon any amendments in the present Treaty which may be considered necessary.

ARTICLE 25

(1) In the event of any vessel not in conformity with the limitations and restrictions as to standard displacement and armament prescribed by Articles 4, 5 and 7 of the present Treaty being authorised, constructed or acquired by a Power not a party to the present Treaty, each High Contracting Party reserves the right to depart if, and to the extent to which, He considers such

guerre de surface ou de ses sous-marins, dans des conditions permettant à une Marine étrangère de les employer comme tels. La présente disposition ne s'applique pas aux bâtiments auxiliaires.

ARTICLE 23

1. Aucune disposition du présent Traité ne portera atteinte au droit qu'à chacune des Hautes Parties Contractantes, en cas de perte ou de destruction accidentelle, de remplacer un bâtiment qui ne serait pas encore hors d'âge, par un bâtiment de la même classe ou sous-classe, aussitôt que les caractéristiques du nouveau bâtiment, comme prévu au paragraphe (b) de l'article 12, seront parvenues à toutes les autres Hautes Parties Contractantes.

2. Les dispositions du paragraphe précédent s'appliqueront également au remplacement immédiat, dans les mêmes circonstances, d'un bâtiment léger de surface de la sous-classe (b) dont le déplacement type dépasse 8,000 tonnes (8,128 tonnes métriques), ou d'un bâtiment léger de surface de la sous-classe (a), si le bâtiment en question n'est pas encore hors d'âge, par un bâtiment léger de surface de la même sous-classe dont le déplacement type pourra atteindre 10,000 tonnes (10,160 tonnes métriques).

ARTICLE 24

1. Si une Haute Partie Contractante se trouve engagée dans une guerre, elle pourra, si elle estime que les exigences de sa défense maritime en sont matériellement affectées, suspendre, pour ce qui la concerne, l'exécution d'une ou de toutes les obli-

marines in such a manner that such vessel may become a surface vessel of war or a submarine in any foreign navy. This provision shall not apply to auxiliary vessels.

ARTICLE 23

(1) Nothing in the present Treaty shall prejudice the right of any High Contracting Party, in the event of loss or accidental destruction of a vessel, before the vessel in question has become over-age, to replace such vessel by a vessel of the same category or sub-category as soon as the particulars of the new vessel mentioned in Article 12 (b) shall have reached all the other High Contracting Parties.

(2) The provisions of the preceding paragraph shall also govern the immediate replacement, in such circumstances, of a light surface vessel of sub-category (b) exceeding 8,000 tons (8,128 metric tons) standard displacement, or of a light surface vessel of sub-category (a), before the vessel in question has become over-age, by a light surface vessel of the same sub-category of any standard displacement up to 10,000 tons (10,160 metric tons).

ARTICLE 24

(1) If any High Contracting Party should become engaged in war, such High Contracting Party may, if He considers the naval requirements of His defence are materially affected, suspend, in so far as He is concerned, any or all of the obligations

aux classes et sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, qui ont été précédemment autorisés et qu'elle a l'intention de mettre sur cale ou d'acquérir pendant la période couverte par ledit programme.

2. Aucune disposition de la présente partie du présent Traité n'empêchera une Haute Partie Contractante de mettre sur cale ou d'acquérir à tout moment, dans les quatre mois qui suivront la date d'entrée en vigueur du Traité, tout bâtiment compris ou à comprendre dans son premier programme annuel de construction ou dans sa première déclaration d'acquisition, ou précédemment autorisé, à condition que les renseignements prescrits au paragraphe (b) de l'article 12 soient, pour chaque bâtiment, fournis à temps pour parvenir à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le mois qui suivra la date d'entrée en vigueur du présent Traité.

3. Au cas où le présent Traité n'entrerait pas en vigueur avant le 1^{er} mai 1937, le premier programme annuel de construction et la première déclaration d'acquisition à communiquer en vertu du paragraphe (a) de l'article 12 ou de l'article 14, devront parvenir aux autres Hautes Parties Contractantes dans le mois qui suivra l'entrée en vigueur du présent Traité.

PARTIE IV

DISPOSITIONS GENERALES ET CLAUSES DE SAUVEGARDE

ARTICLE 22

Aucune Haute Partie Contractante ne disposera à titre gratuit, à titre onéreux, ou autrement, de ses bâtiments de

mentioned in Article 12 (a), which have been previously authorised and which it is the intention to lay down or acquire during the period covered by the said Programme.

(2) Nothing in this Part of the present Treaty shall prevent any High Contracting Party from laying down or acquiring, at any time during the four months following the date of the coming into force of the Treaty, any vessel included, or to be included, in His initial Annual Programme of construction or declaration of acquisition, or previously authorised, provided that the information prescribed by Article 12 (b) concerning each vessel shall be communicated so as to reach all the other High Contracting Parties within one month after the date of the coming into force of the present Treaty.

(3) If the present Treaty should not come into force before the 1st May, 1937, the initial Annual Programme of construction and declaration of acquisition, to be communicated under Articles 12 (a) and 14 shall reach all the other High Contracting Parties within one month after the date of the coming into force of the present Treaty.

PART IV

GENERAL AND SAFEGUARDING CLAUSES

ARTICLE 22

No High Contracting Party shall, by gift, sale or any mode of transfer, dispose of any of His surface vessels of war or sub-

vigueur du présent Traité, des listes de tous ses petits navires de combat et bâtiments auxiliaires, comportant les caractéristiques énoncées au paragraphe (b) de l'article 12, et l'indication de l'emploi particulier auquel ils sont destinés; par la suite, elle communiquera, à temps pour qu'elles parviennent à la connaissance de toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le courant du mois de janvier de chaque année, toutes modifications qu'il conviendrait d'apporter à ces listes ainsi qu'aux indications susvisées.

ARTICLE 20

Chacune des Hautes Parties Contractantes communiquera aux autres Hautes Parties Contractantes, à temps pour qu'elles leur parviennent dans le mois qui suivra la date d'entrée en vigueur du présent Traité, les caractéristiques indiquées au paragraphe (b) de l'article 12, de tous bâtiments des classes et sous-classes mentionnées au paragraphe (a) du même article, qui seraient à ce moment en construction pour son compte, que ces bâtiments soient ou non construits dans le ressort de sa juridiction, ainsi que les mêmes caractéristiques concernant de tels bâtiments en construction à ce moment, dans le ressort de sa juridiction, pour le compte d'une Puissance non partie au présent Traité.

ARTICLE 21

1. Au moment où elle communiquera son premier programme annuel de construction et sa première déclaration d'acquisition, chacune des Hautes Parties Contractantes fera connaître aux autres Haute Parties Contractantes tous les bâtiments appartenant

ular service for which they are intended, so as to reach all the other High Contracting Parties within one month after the date of the coming into force of the present Treaty; and, so as to reach all the other High Contracting Parties within the month of January in each subsequent year, any amendments in the lists and changes in the information.

ARTICLE 20

Each of the High Contracting Parties shall communicate to each of the other High Contracting Parties, so as to reach the latter within one month after the date of the coming into force of the present Treaty, particulars, as mentioned in Article 12 (b), of all vessels of the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a), which are then under construction for Him, whether or not such vessels are being constructed within His own jurisdiction, together with similar particulars relating to any such vessels then under construction within His own jurisdiction for a Power not a party to the present Treaty.

ARTICLE 21

(1) At the time of communicating His initial Annual Programme of construction and declaration of acquisition, each High Contracting Party shall inform each of the other High Contracting Parties of any vessels of the categories or sub-categories

piration d'un délai d'au moins quatre mois à compter de la date à laquelle ces renseignements seront parvenus à toutes les Hautes Parties Contractantes.

ARTICLE 17

Aucune Haute Partie Contractante ne pourra mettre sur cale ou acquérir de bâtiment des classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, si ce bâtiment n'a pas été antérieurement compris dans son programme annuel de construction ou dans sa déclaration d'acquisition pour l'année en cours, ou dans l'un de ses programmes ou déclarations antérieurs.

ARTICLE 18

Au cas où, dans le ressort de la juridiction de l'une des Hautes Parties Contractantes, serait entreprise la construction, reconstruction ou modernisation d'un bâtiment entrant dans les classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, pour le compte d'une Puissance non partie au présent Traité, la Haute Partie Contractante intéressée portera sans délai à la connaissance de toutes les autres Hautes Parties Contractantes la date de la signature du contrat et, aussitôt que possible, tous les renseignements relatifs audit bâtiment indiqués aux paragraphes (b), (c) et (d) de l'article 12.

ARTICLE 19

Chacune des Hautes Parties Contractantes communiquera, à temps pour qu'elles parviennent à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le mois qui suivra la date d'entrée en

formation has reached all the other High Contracting Parties.

ARTICLE 17

No High Contracting Party shall lay down or acquire any vessel of the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a), which has not previously been included in His Annual Programme of construction or declaration of acquisition for the current year or in any earlier Annual Programme or declaration.

ARTICLE 18

If the construction, modernisation or reconstruction of any vessel coming within the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a), which is for the order of a Power not a party to the present Treaty, is undertaken within the jurisdiction of any High Contracting Party, He shall promptly inform all the other High Contracting Parties of the date of the signing of the contract and shall also give as soon as possible in respect of the vessel all the information mentioned in Article 12 (b), (c) and (d).

ARTICLE 19

Each High Contracting Party shall give lists of all His minor war vessels and auxiliary vessels with their characteristics, as enumerated in Article 12 (b), and information as to the partic-

par ledit paragraphe. Un tel bâtiment ne pourra pas être acquis avant l'expiration d'un délai de quatre mois à compter de la date à laquelle ladite déclaration sera parvenue à toutes les autres Hautes Parties Contractantes. Les caractéristiques indiquées au paragraphe (b) de l'article 12 seront fournies pour ce bâtiment, en même temps que la date de sa mise sur cale, à temps pour parvenir à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans le délai d'un mois à compter de la date de la signature du contrat d'achat du bâtiment. Les caractéristiques qui font l'objet des paragraphes (d), (e) et (f) de l'article 12 seront fournies ainsi qu'il est prévu auxdits paragraphes.

ARTICLE 15

Au moment où elle communiquera le programme annuel prévu au paragraphe (a) de l'article 12, chacune des Hautes Parties Contractantes fera connaître à tous les autres Hautes Parties Contractantes quels sont les bâtiments, compris dans ses déclarations et ses programmes annuels précédents, qui n'ont pas encore été mis sur cale ou acquis par elle, mais qu'elle a l'intention de mettre sur cale ou d'acquérir pendant la période couverte par ledit programme.

ARTICLE 16

Si, avant la mise sur cale d'un bâtiment entrant dans les classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, une modification importante est apportée aux caractéristiques déjà communiquées en application du paragraphe (b) du même article, les renseignements concernant cette modification devront être communiqués; la mise sur cale sera retardée jusqu'à l'ex-

Article. No such vessel shall be acquired until after the expiration of a period of four months from the date on which such declaration has reached all the other High Contracting Parties. The particulars mentioned in Article 12 (b), together with the date on which the keel was laid, shall be furnished in respect of such vessel so as to reach all the other High Contracting Parties within one month after the date on which the contract for the acquisition of the vessel was signed. The particulars mentioned in Article 12 (d), (e) and (f) shall be given as therein prescribed.

ARTICLE 15

At the time of communicating the Annual Programme prescribed by Article 12 (a), each High Contracting Party shall inform all the other High Contracting Parties of all vessels included in His previous Annual Programmes and declarations that have not yet been laid down or acquired, but which it is the intention to lay down or acquire during the period covered by the first mentioned Annual Programme.

ARTICLE 16

If, before the keel of any vessel coming within the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a) is laid, any important modification is made in the particulars regarding her which have been communicated under Article 12 (b), information concerning this modification shall be given, and the laying of the keel shall be deferred until at least four months after this in-

au cours de l'année précédente. Si ces bâtiments n'ont pas été détruits, il sera donné des renseignements suffisants pour permettre de déterminer leur nouvelle situation ou leur nouvel état.

(f) Au moins quatre mois avant d'entreprendre des modifications de nature à faire entrer un bâtiment déjà achevé dans une des classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) ci-dessus, ou à faire passer un tel bâtiment de l'une dans l'autre de ces classes ou sous-classes: les renseignements sur ses caractéristiques projetées, comme indiqué au paragraphe (b) ci-dessus.

ARTICLE 13

Aucun bâtiment entrant dans les classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12 ne sera mis sur cale par une Haute Partie Contractante avant l'expiration d'un délai de quatre mois à compter de la date à laquelle seront parvenus à toutes les autres Hautes Parties Contractantes, tant le programme annuel dans lequel le bâtiment est compris, que les caractéristiques relatives à ce bâtiment mentionnées au paragraphe (b) de l'article 12.

ARTICLE 14

Si une Haute Partie Contractante a l'intention d'acquérir un bâtiment totalement ou partiellement achevé, entrant dans les classes ou sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, ce bâtiment devra être déclaré en même temps et de la même façon que les bâtiments inclus dans le programme annuel prescrit

preceding year. If such vessels are not scrapped, sufficient information shall be given to enable their new status and condition to be determined.

(f) Not less than four months before undertaking such alterations as would cause a completed vessel to come within one of the categories or sub-categories mentioned in paragraph (a) above, or such alterations as would cause a vessel to change from one to another of the said categories or sub-categories: information as to her intended characteristics as specified in paragraph (b) above.

ARTICLE 13

No vessel coming within the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a) shall be laid down by any High Contracting Party until after the expiration of a period of four months both from the date on which the Annual Programme in which the vessel is included, and from the date on which the particulars in respect of that vessel prescribed by Article 12 (b), have reached all the other High Contracting Parties.

ARTICLE 14

If a High Contracting Party intends to acquire a completed or partially completed vessel coming within the categories or sub-categories mentioned in Article 12 (a), that vessel shall be declared at the same time and in the same manner as the vessels included in the Annual Programme prescribed in the said

Nombre et calibre de tous les canons d'un calibre égal ou supérieur à 76 millimètres (3 pouces).

Nombre approximatif des canons d'un calibre inférieur à 76 millimètres (3 pouces).

Nombre de tubes lance-torpilles.

Le navire est-il conçu pour la pose de mines?

Nombre approximatif des aéronefs pour lesquels des installations sont prévues.

(c) Dès que possible après la mise sur cale de chacun de ces bâtiments, la date à laquelle celle-ci a eu lieu.

(d) Dans le mois qui suit la date d'achèvement de chacun de ces bâtiments, la date de cet achèvement, ainsi que toutes les caractéristiques indiquées au paragraphe (b) ci-dessus, relatives au bâtiment au moment de son achèvement.

(e) Chaque année, au cours du mois de janvier, pour les bâtiments entrant dans les classes et sous-classes mentionnées au paragraphe (a) ci-dessus :

(i) des renseignements sur toutes modifications importantes qu'il serait devenu nécessaire d'apporter, au cours de l'année précédente, aux bâtiments en construction, pour autant que ces modifications affectent les caractéristiques mentionnées au paragraphe (b) ci-dessus ;

(ii) des renseignements sur toutes modifications importantes apportées, au cours de l'année précédente, à des bâtiments déjà achevés, pour autant qu'elles affectent les caractéristiques mentionnées au paragraphe (b) ci-dessus ;

(iii) des renseignements concernant les bâtiments qui auraient été détruits ou déclassés de quelque autre façon

Number and calibre of all guns of 3 in. (76 mm.) calibre and above ;

Approximate number of guns of less than 3 in. (76 mm.) calibre ;

Number of torpedo tubes ;

Whether designed to lay mines ;

Approximate number of aircraft for which provision is to be made.

(c) As soon as possible after the laying-down of the keel of each such vessel, the date on which it was laid.

(d) Within one month after the date of completion of each such vessel, the date of completion together with all the particulars specified in paragraph (b) above relating to the vessel on completion.

(e) Annually during the month of January, in respect of vessels belonging to the categories and sub-categories mentioned in paragraph (a) above :

(i) Information as to any important alterations which it may have proved necessary to make during the preceding year in vessels under construction, in so far as these alterations affect the particulars mentioned in paragraph (b) above.

(ii) Information as to any important alterations made during the preceding year in vessels previously completed, in so far as these alterations affect the particulars mentioned in paragraph (b) above.

(iii) Information concerning vessels which may have been scrapped or otherwise disposed of during the

bâtiment, le calibre du plus gros canon. Les classes et sous-classes en question sont les suivantes :

Bâtiments de ligne :

sous-classe (a)

sous-classe (b)

Bâtiments porte-aéronefs :

sous-classe (a)

sous-classe (b)

Bâtiments légers de surface :

sous-classe (a)

sous-classe (b)

sous-classe (c)

Sous-marins.

(b) Au moins quatre mois avant la date de la mise sur cale, les renseignements suivants au sujet de chacun de ces bâtiments :

Nom ou appellation.

Classe et sous-classe.

Déplacement type en tonnes et en tonnes métriques.

Longueur à la ligne de flottaison correspondant au déplacement type.

Largeur maxima à ou sous la ligne de flottaison correspondant au déplacement type.

Tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type.

Puissance en chevaux prévue.

Vitesse prévue.

Type des machines.

Type du combustible.

vessel, the calibre of the largest gun. The categories and sub-categories in question are:—

Capital Ships—

sub-category (a)

sub-category (b)

Aircraft-Carriers—

sub-category (a)

sub-category (b)

Light Surface Vessels—

sub-category (a)

sub-category (b)

sub-category (c)

Submarines.

(b) Not less than four months before the date of the laying of the keel, the following particulars in respect of each such vessel:—

Name or designation ;

Category and sub-category ;

Standard displacement in tons and metric tons ;

Length at waterline at standard displacement ;

Extreme beam at or below waterline at standard displacement ;

Mean draught at standard displacement ;

Designed horse-power ;

Designed speed ;

Type of machinery ;

Type of fuel ;

est prévu ci-après, des renseignements concernant son programme annuel de construction et d'acquisition de tous bâtiments des classes et sous-classes mentionnées au paragraphe (a) de l'article 12, que ceux-ci soient ou non construits dans le ressort de sa juridiction ; elle leur communiquera également, de manière périodique, des renseignements détaillés relatifs aux dits bâtiments ainsi qu'à toutes les modifications qui seraient apportées à des bâtiments déjà achevés desdites classes ou sous-classes.

2. Aux fins de la présente partie et des parties suivantes du Traité, tout renseignement sera considéré comme étant parvenu à une Haute Partie Contractante à la date à laquelle en auront reçu communication ses représentants diplomatiques accrédités auprès de la Haute Partie Contractante qui fournit les renseignements.

3. Ces renseignements devront conserver un caractère confidentiel jusqu'à leur publication par la Haute Partie Contractante qui les a fournis.

ARTICLE 12

Les renseignements à fournir en vertu de l'article précédent, au sujet de bâtiments construits par une Haute Partie Contractante ou pour son compte, seront donnés comme suit, à temps pour parvenir à toutes les autres Hautes Parties Contractantes dans les délais ou au moment prescrits :

(a) Dans les quatre premiers mois de chaque année civile, le programme annuel de construction de tous bâtiments des classes et sous-classes ci-après, en indiquant le nombre de bâtiments de chaque classe ou sous-classe, et, pour chaque

tion, as hereinafter provided, regarding His annual programme for the construction and acquisition of all vessels of the categories and sub-categories mentioned in Article 12 (a), whether or not the vessels concerned are constructed within His own jurisdiction, and periodical information giving details of such vessels and of any alterations to vessels of the said categories or sub-categories already completed.

(2) For the purpose of this and the succeeding Parts of the present Treaty, information shall be deemed to have reached a High Contracting Party on the date upon which such information is communicated to His Diplomatic Representatives accredited to the High Contracting Party by whom the information is given.

(3) This information shall be treated as confidential until published by the High Contracting Party supplying it.

ARTICLE 12

The information to be furnished under the preceding Article in respect of vessels constructed by or for a High Contracting Party shall be given as follows ; and so as to reach all the other High Contracting Parties within the periods or at the times mentioned :—

(a) Within the first four months of each calendar year, the Annual Programme of construction of all vessels of the following categories and sub-categories, stating the number of vessels of each category or sub-category and, for each

qu'il est défini en paragraphe A de l'article premier du présent Traité.

ARTICLE 9

Il ne sera fait, en temps de paix, aucune installation préparatoire sur les navires de commerce, en vue de les armer pour les transformer en bâtiments de guerre; toutefois il sera permis de renforcer les ponts pour y monter des canons d'un calibre ne dépassant pas 155 millimètres (6,1 pouces).

ARTICLE 10

Conserveront leur classe ou leur désignation précédente, les bâtiments mis sur cale avant la date d'entrée en vigueur du présent Traité, dont le déplacement type ou l'armement dépasserait les limitations ou restrictions prévues, pour leur classe ou leur sous-classe, à la présente partie dudit Traité, ainsi que les bâtiments qui, avant cette date, et conformément aux dispositions des traités antérieurs, ont été transformés pour l'usage exclusif de cible, ou conservés pour servir exclusivement à des expériences ou à l'instruction.

PARTIE III

PREAVIS ET ECHANGES DE RENSEIGNEMENTS.

ARTICLE 11

1. Chacune des Hautes Parties Contractantes communiquera chaque année aux autres Hautes Parties Contractantes, ainsi qu'il

defined in Article 1A of the present Treaty.

ARTICLE 9

No preparations shall be made in merchant ships in time of peace for the installation of warlike armaments for the purpose of converting such ships into vessels of war, other than the necessary stiffening of decks for the mounting of guns not exceeding 6.1 in. (155 mm.) in calibre.

ARTICLE 10.

Vessels which were laid down before the date of the coming into force of the present Treaty, the standard displacement or armament of which exceeds the limitations or restrictions prescribed in this Part of the present Treaty for their category or sub-category, or vessels which before that date were converted to target use exclusively or retained exclusively for experimental or training purposes under the provisions of previous treaties, shall retain the category or designation which applied to them before the said date.

PART III

ADVANCE NOTIFICATION AND EXCHANGE OF INFORMATION

ARTICLE 11

(1) Each of the High Contracting Parties shall communicate every year to each of the other High Contracting Parties informa-

métriques), et aucun bâtiment léger de surface de la sous-classe (a) ne seront mis sur cale ou acquis avant le 1^{er} janvier 1943.

2. Nonobstant les dispositions du paragraphe (1) ci-dessus, si une Haute Partie Contractante estime que les exigences de sa sécurité nationale sont matériellement affectées par le nombre de bâtiments légers de surface de la sous-classe (b) construits, en construction ou autorisés par une Puissance quelconque, ou par le fait qu'une telle Puissance construit des bâtiments légers de surface sans se conformer aux restrictions du paragraphe (1) ci-dessus, ladite Haute Partie Contractante aura, après avoir notifié ses intentions aux autres Hautes Parties Contractantes et leur en avoir exposé les motifs, le droit de mettre sur cale ou d'acquérir des bâtiments légers de surface des sous-classes (a) et (b) dont le déplacement type pourra atteindre 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), pourvu qu'elle se conforme aux dispositions de la Partie III du présent Traité. Chacune des Hautes Parties Contractantes sera alors fondée à exercer le même droit.

3. Il est entendu qu'aucun engagement, explicite ou implicite, de maintenir postérieurement à l'année 1942 les restrictions prévues au paragraphe 1 ci-dessus, ne résulte dudit paragraphe 1.

ARTICLE 7

Aucun sous-marin n'aura un déplacement type supérieur à 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques), ni ne portera de canon d'un calibre supérieur à 130 millimètres (5,1 pouces).

ARTICLE 8

Tout bâtiment sera compté pour son déplacement type tel

light surface vessel of sub-category (a) shall be laid down or acquired prior to the 1st January, 1943.

(2) Notwithstanding the provisions of paragraph (1) above, if the requirements of the national security of any High Contracting Party are, in His opinion, materially affected by the actual or authorised amount of construction by any Power of light surface vessels of sub-category (b), or of light surface vessels not conforming to the restrictions of paragraph (1) above, such High Contracting Party shall, upon notifying the other High Contracting Parties of His intentions and the reasons therefor, have the right to lay down or acquire light surface vessels of sub-categories (a) and (b) of any standard displacement up to 10,000 tons (10,610 metric tons) subject to the observance of the provisions of Part III of the present Treaty. Each of the other High Contracting Parties shall thereupon be entitled to exercise the same right.

(3) It is understood that the provisions of paragraph (1) above constitute no undertaking expressed or implied to continue the restrictions therein prescribed after the year 1942.

ARTICLE 7

No submarine shall exceed 2,000 tons (2,032 metric tons) standard displacement or carry a gun exceeding 5.1 in. (130 mm.) in calibre.

ARTICLE 8

Every vessel shall be rated at its standard displacement, as

toutefois que si l'une des Parties au Traité pour la limitation des armements navals signé à Washington le 6 février 1922, ne prenait pas, avant la date d'entrée en vigueur du présent Traité, et en tout cas au plus tard le 1^{er} avril 1937, l'engagement de se conformer à la présente disposition, le calibre maximum permis pour les canons des bâtiments de ligne sera de 406 millimètres (16 pouces)

3. Aucun bâtiment de ligne de la sous-classe (a) dont le déplacement type serait inférieur à 17.500 tonnes (17.780 tonnes métriques) ne sera mis sur cale ou acquis avant le 1^{er} janvier 1943.

4. Aucun bâtiment de ligne dont l'armement principal consisterait en canons d'un calibre inférieur à 254 millimètres (10 pouces) ne sera mis sur cale ou acquis avant le 1^{er} janvier 1943.

ARTICLE 5

1. Aucun bâtiment porte-aéronefs n'aura un déplacement type supérieur à 23.000 tonnes (23.368 tonnes métriques), ni ne portera de canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces).

2. Si l'armement d'un bâtiment porte-aéronefs comprend des canons d'un calibre supérieur à 134 millimètres (5,25 pouces), le nombre total de canons dépassant ce calibre ne devra pas être supérieur à dix.

ARTICLE 6

1. Aucun bâtiment léger de surface de la sous-classe (b) dont le déplacement type dépasserait 8.000 tonnes (8.128 tonnes

to the Treaty for the Limitation of Naval Armament signed at Washington on the 6th February, 1922, should fail to enter into an agreement to conform to this provision prior to the date of the coming into force of the present Treaty, but in any case not later than the 1st April, 1937, the maximum calibre of gun carried by capital ships shall be 16 in. (406 mm.).

(3) No capital ship of sub-category (a), the standard displacement of which is less than 17,500 tons (17,780 metric tons), shall be laid down or acquired prior to the 1st January, 1943.

(4) No capital ship, the main armament of which consists of guns of less than 10 in. (254 mm.) calibre, shall be laid down or acquired prior to the 1st January, 1943.

ARTICLE 5

(1) No aircraft carrier shall exceed 23,000 tons (23,368 metric tons) standard displacement or carry a gun with a calibre exceeding 6.1 in. (155 mm.)

(2) If the armament of any aircraft carrier includes guns excluding 5.25 in. (134 mm.) in calibre, the total number of guns carried which exceed that calibre shall not be more than ten.

ARTICLE 6

(1) No light surface vessel of sub-category (b) exceeding 8,000 tons (8,128 metric tons) standard displacement, and no

D.—*Mois.*

Dans le présent Traité, le mot “mois,” lorsqu’il se réfère à une période de temps, doit être entendu comme correspondant à une durée de trente jours.

PARTIE II
LIMITATIONS
ARTICLE 2

A partir de la date d’entrée en vigueur du présent Traité, aucun bâtiment dépassant les limites de déplacement ou d’armement prévues à la présente Partie dudit Traité ne devra être acquis par une Haute Partie Contractante, ni construit par elle, ou pour son compte, ou dans le ressort de sa juridiction.

ARTICLE 3

Aucun bâtiment qui, à la date d’entrée en vigueur du présent Traité, portera des canons d’un calibre supérieur aux limites fixées à la présente Partie dudit Traité, ne sera, s’il est reconstruit ou modernisé, réarmé de canons d’un calibre supérieur à celui des canons qu’il portait précédemment.

ARTICLE 4

1. Aucun bâtiment de ligne n’aura un déplacement type supérieur à 35,000 tonnes (35.560 tonnes métriques).

2. Aucun bâtiment de ligne ne portera de canon d’un calibre supérieur à 356 millimètres (14 pouces); il est entendu

D.—*Month.*

The word “month” in the present Treaty with reference to a period of time denotes the month of thirty days.

PART II
LIMITATION
ARTICLE 2

After the date of the coming into force of the present Treaty, no vessel exceeding the limitations as to displacement or armament prescribed by this Part of the present Treaty shall be acquired by any High Contracting Party or constructed by, for or within the jurisdiction of any High Contracting Party.

ARTICLE 3

No vessel which at the date of the coming into force of the present Treaty carries guns with a calibre exceeding the limits prescribed by this Part of the present Treaty shall, if reconstructed or modernised, be rearmed with guns of a greater calibre than those previously carried by her.

ARTICLE 4

(1) No capital ship shall exceed 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement.

(2) No capital ship carry a gun with a calibre exceeding 14 in. (356 mm.); provided however that if any of the Parties

(d) être conçus pour être protégés par des plaques de blindage ;

(e) être conçus pour atteindre une vitesse supérieure à vingt-huit noeuds ;

(f) être conçus ou aménagés principalement pour mettre en action des aéronefs en mer ;

(g) être équipés de plus de deux appareils à lancer des aéronefs.

7. Les *petits bâtiments* sont des bâtiments de surface faisant partie de la flotte militaire, dont le déplacement type n'est pas supérieur à 100 tonnes (102 tonnes métriques).

C.—*Bâtiments hors d'âge.*

Les bâtiments des classes et sous-classes suivantes seront considérés comme "hors d'âge" lorsque, depuis leur achèvement, se sera écoulé le nombre d'années indiqué ci-dessous :

- (a) pour un bâtiment de ligne..... 26 ans ;
- (b) pour un bâtiment porte-aéronefs 20 ans ;
- (c) pour un bâtiment léger de surface des sous-classes
- (a) et (b) :
 - (i) s'il a été mis sur cale avant le 1^{er} janvier 1920 16 ans ;
 - (ii) s'il a été mis sur cale après le 31 décembre 1919 20 ans ;
- (d) pour un bâtiment léger de surface de la sous-classe (c) 16 ans ;
- (e) pour un sous-marin 13 ans ;

(d) are designed for protection by armour plate ;

(e) are designed for a speed greater than twenty-eight knots ;

(f) are designed or adapted primarily for operating aircraft at sea ;

(g) mount more than two aircraft-launching apparatus.

(7) *Small Crafts* are naval surface vessels the standard displacement of which does not exceed 100 tons (102 metric tons).

C.—*Over Age.*

Vessels of the following categories and sub-categories shall be deemed to be "over-age" when the undermentioned number of years have elapsed since completion :—

- (a) Capital ships 26 years.
- (b) Aircraft-carriers 20 years.
- (c) Light surface vessels, sub-categories (a) and
- (b) :
 - (i) if laid down before 1st January, 1920... 16 years.
 - (ii) if laid down after 31st December, 1919... 20 years.
- (d) Light surface vessels, sub-category (c) 16 years.
- (e) Submarines 13 years.

ment type n'est pas supérieur à 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques).

4. Les *sous-marins* sont tous les bâtiments conçus pour naviguer au dessous de la surface de la mer.

5. Les *petits navires de combat* sont des bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments auxiliaires, dont le déplacement type est supérieur à 100 tonnes (102 tonnes métriques), sans dépasser 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques), et qui n'ont aucune des caractéristiques suivantes :

- (a) être armés d'un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (b) être conçus ou équipés pour lancer des torpilles;
- (c) être conçus pour atteindre une vitesse supérieure à vingt noeuds.

6. Les *bâtiments auxiliaires* sont des bâtiments de surface faisant partie de la flotte militaire, dont le déplacement type est supérieur à 100 tonnes (102 tonnes métriques), qui sont normalement utilisés pour le service de la flotte, ou comme transports de troupes, ou pour tout emploi autre que celui de bâtiments combattants, qui ne sont pas spécialement construits pour être des bâtiments combattants, et qui n'ont aucune des caractéristiques suivantes :

- (a) être armés d'un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (b) être armés de plus de huit canons d'un calibre supérieur à 76 millimètres (3 pouces);
- (c) être conçus ou équipés pour lancer des torpilles;

of which does not exceed 3,000 tons (3,048 metric tons).

(4) *Submarines* are all vessels designed to operate below the surface of the sea.

(5) *Minor War Vessels* are surface vessels of war, other than auxiliary vessels, the standard displacement of which exceeds 100 tons (102 metric tons) and does not exceed 2,000 tons (2,032 metric tons), provided they have none of the following characteristics :—

- (a) mount a gun with a calibre exceeding 6.1 in. (155 mm.)
- (b) are designed or fitted to launch torpedoes;
- (c) are designed for a speed greater than twenty knots.

(6) *Auxiliary Vessels* are naval surface vessels the standard displacement of which exceeds 100 tons (102 metric tons), which are normally employed on fleet duties or as troop transports, or in some other way than as fighting ships, and which are not specifically built as fighting ships, provided they have none of the following characteristics :—

- (a) mount a gun with a calibre exceeding 6.1 in (155 mm.);
- (b) mount more than eight guns with a calibre exceeding 3 in. (76 mm.);
- (c) are designed or fitted to launch torpedoes;

des aéronefs en mer. Si un bâtiment de guerre n'a pas été conçu ou aménagé principalement pour transporter et mettre en action des aéronefs en mer, l'installation sur ce bâtiment d'un pont d'atterrissage ou d'envol n'aura pas pour effet de le faire entrer dans la classe des bâtiments porte-aéronefs.

La classe des bâtiments porte-aéronefs se subdivise en deux sous-classes, à savoir :

(a) bâtiments pourvus d'un pont tel que les aéronefs puissent y prendre leur vol ou s'y poser ;

(b) bâtiments non pourvus du pont décrit au paragraphe (a) ci-dessus.

3. Les *bâtiments légers de surface* sont des bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments porte-aéronefs, les petits navires de combat ou les bâtiments auxiliaires, dont le déplacement type est supérieur à 100 tonnes (102 tonnes métriques), sans dépasser 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), et qui ne portent pas de canon d'un calibre supérieur à 203 millimètres (8 pouces).

La classe des bâtiments légers de surface se subdivise en trois sous-classes, à savoir :

(a) bâtiments portant un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces) ;

(b) bâtiments qui ne portent pas de canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces), et dont le déplacement type est supérieur à 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) ;

(c) bâtiments qui ne portent pas de canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces), et dont le déplacement

landing-on or flying-off deck on any vessel of war, provided such vessel has not been designed or adapted primarily for the purpose of carrying and operating aircraft at sea, shall not cause any vessel so fitted to be classified in the category of aircraft-carriers.

The category of aircraft-carriers is divided into two sub-categories as follows:—

(a) vessels fitted with a flight deck, from which aircraft can take off, or on which aircraft can land from the air ;

(b) vessels not fitted with a flight deck as described in (a) above.

(3) *Light Surface Vessels* are surface vessels of war other than aircraft-carriers, minor war vessels or auxiliary vessels, the standard displacement of which exceeds 100 tons (102 metric tons) and does not exceed 10,000 tons (10,160 metric tons), and which do not carry a gun with a calibre exceeding 8 in. (203 mm.).

The category of light surface vessels is divided into three sub-categories as follows:—

(a) vessels which carry a gun with a calibre exceeding 6.1 in. (155 mm.) ;

(b) vessels which do not carry a gun with a calibre exceeding 6.1 in. (155 mm.) and the standard displacement of which exceeds 3,000 tons (3,048 metric tons) ;

(c) vessels which do not carry a gun with a calibre exceeding 6.1 in. (155 mm.) and the standard displacement

2. Le déplacement type d'un sous-marin est le déplacement en surface du bâtiment achevé (non compris l'eau des compartiments non étanches), avec son équipage complet, son appareil moteur, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres pour l'équipage, outillages divers et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible, huile lubrifiante, eau douce ou eau de ballast de toute sorte.

3. Le mot "tonne", sauf dans l'expression "tonnes métriques," désigne une tonne de 1.016 kilogrammes (2.240 lbs.).

B.—*Classes.*

1. Les bâtiments de ligne sont des bâtiments de guerre de surface appartenant à l'une des deux sous-classes suivantes :

(a) bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments porte-aéronefs, les bâtiments auxiliaires ou les bâtiments de ligne de la sous-classe (b), dont le déplacement type est supérieur à 10.000 tonnes (10,160 tonnes métriques) ou qui portent un canon d'un calibre supérieur à 203 millimètres (8 pouces);

(b) Bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments porte-aéronefs, dont le déplacement type n'est pas supérieur à 8.000 tonnes (8.128 tonnes métriques) et qui portent un canon d'un calibre supérieur à 203 millimètres (8 pouces).

2. Les *bâtiments porte-aéronefs* sont des bâtiments de guerre de surface qui, quel que soit leur déplacement, sont conçus ou aménagés principalement pour transporter et mettre en action

(2) The standard displacement of a submarine is the surface displacement of the vessel complete (exclusive of the water in non-watertight structure), fully manned, engined and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions for crew, miscellaneous stores and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel, lubricating oil, fresh water or ballast water of any kind on board.

(3) The word "ton" except in the expression "metric tons" denotes the ton of 2,240 lb. (1,016 kilos).

B.—*Categories.*

(1) *Capital Ships* are surface vessels of war belonging to one of the two following sub-categories:—

(a) surface vessels of war, other than aircraft carriers, auxiliary vessel, or capital ships of sub-category (b), the standard displacement of which exceeds 10,000 tons (10,160 metric tons) or which carry a gun with a calibre exceeding 8 in. (203 mm.);

(b) surface vessels of war, other than aircraft-carriers, the standard displacement of which does not exceed 8,000 tons (8,128 metric tons) and which carry a gun with a calibre exceeding 8 in. (203 mm.).

(2) *Aircraft-Carriers* are surface vessels of war, whatever their displacement, designed or adapted primarily for the purpose of carrying and operating aircraft at sea. The fitting of a

pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande :

L'Honorable Sir Christopher James Parr, G.C.M.G.,
Haut-Commissaire du Dominion de la Nouvelle-
Zélande à Londres ;

pour l'Inde :

M. Richard Austen Butler, M.P., Sous-Secrétaire
d'Etat parlementaire pour l'Inde ;

Lesquels, après s'être communiqué leurs pleins pouvoirs,
reconnus en bonne et due forme, sont convenus des dispositions
suivantes :

PARTIE I

DEFINITIONS

ARTICLE PREMIER

Dans le présent Traité, les expressions suivantes doivent
s'entendre respectivement avec le sens ci-après :

A.—*Déplacement type.*

1. Le déplacement type d'un bâtiment de surface est le
déplacement du bâtiment achevé, avec son équipage complet, ses
machines et chaudières, prêt à prendre la mer, ayant tout son
armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements,
vivres, eau douce pour l'équipage, approvisionnements divers,
outillages et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en
temps de guerre, mais sans combustible et sans eau de réserve
pour l'alimentation des machines et chaudières.

for the Dominion of New Zealand :

The Honourable Sir Christopher James Parr, G.C.M.
G., High Commissioner for the Dominion of New
Zealand in London ;

for India :

Richard Austen Butler, Esquire, M.P., Parliamentary
Under Secretary of State for India.

Who, having communicated to one another their full powers,
found in good and due form, have agreed as follows :

PART I

DEFINITIONS

ARTICLE 1

For the purposes of the present Treaty, the following expres-
sions are to be understood in the sense hereinafter defined.

A.—*Standard Displacement.*

(1) The Standard displacement of a surface vessel is the
displacement of the vessel, complete, fully manned, engined, and
equipped ready for sea, including all armament and ammunition,
equipment, outfit, provisions and fresh water for crew, miscel-
laneous stores and implements of every description that are
intended to be carried in war, but without fuel or reserve feed
water on board.

Son Excellence M. Charles Corbin, Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire de la République Française auprès de la Cour de St. James ;

Le Vice-Amiral Georges Robert, Membre du Conseil Supérieur de la Marine, Inspecteur général des Forces Maritimes de la Méditerranée ;

Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au-delà des Mers, Empereur des Indes :

pour la Grande-Bretagne et l'Irlande du Nord et toutes les parties de l'Empire Britannique qui ne sont pas individuellement Membres de la Société des Nations :

Le Très Honorable Anthony Eden; N.C., M.P., Son Principal Secrétaire d'Etat pour les Affaires Etrangères ;

Le Très Honorable Vicomte Monsell, G.B.E., Premier Lord de Son Amirauté ;

Le Lieutenant-Colonel Comte Stanhope, K.G., D.S.O., M.C., D.L., Sous Secrétaire d'Etat pour les Affaires Etrangères ;

pour le Dominion du Canada :

L'Honorable Vincent Massey, Haut-Commissaire du Dominion du Canada à Londres ;

pour le Commonwealth d'Australie :

Le Très Honorable Stanley Melbourne Bruce, C.H., M.C., Haut-Commissaire du Commonwealth d'Australie à Londres ;

His Excellency Monsieur Charles Corbin, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the French Republic at the Court of St. James ;

Vice-Admiral Georges Robert, Member of the Supreme Naval Council, Inspector-General of the Naval Forces in the Mediterranean ;

His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India :

for Great Britain and Northern Ireland and all parts of the British Empire which are not separate Members of the League of Nations :

The Right Honourable Anthony Eden, M.C., M.P., His Principal Secretary of State for Foreign Affairs ;

The Right Honourable Viscount Monsell, G.B.E., First Lord of His Admiralty ;

Lieutenant-Colonel the Earl Stanhope, K.G., D.S.O., M.C., D.L., Parliamentary Under Secretary of State for Foreign Affairs ;

for the Dominion of Canada :

The Honourable Vincent Massey, High Commissioner for the Dominion of Canada in London ;

for the Commonwealth of Australia :

The Right Honourable Stanley Melbourne Bruce, C.H., M.C., High Commissioner for the Commonwealth of Australia in London ;

TRAITE NAVAL DE LONDRES, DE 1936.

Signé à Londres, le 25 mars 1936 (11^e année de Showa).

Le Président des Etats-Unis d'Amérique, le Président de la République Française et Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au-delà des Mers, Empereur des Indes,

Soucieux de réduire les charges et de prévenir les dangers inhérents à une rivalité d'armements navals,

Désireux, en raison de l'expiration prochaine du Traité pour la limitation des armements navals signé à Washington le 6 février 1922 et du Traité pour la limitation et la réduction des armements navals signé à Londres le 22 avril 1930 (sa partie IV exceptée), de prendre des dispositions pour la limitation des armements navals ainsi que pour l'échange de renseignements concernant les constructions navales,

Ont résolu de conclure un Traité à cet effet et ont désigné pour leurs Plénipotentiaires :

Le Président des Etats-Unis d'Amérique :

L'Honorable Norman H. Davis ;

L'Amiral William H. Standley, Chef des opérations navales de la Marine des Etats-Unis ;

Le Président de la République Française :

LONDON NAVAL TREATY OF 1936.

Signed at London, March 25, 1936 (11th year of Showa).

The President of the United States of America, the President of the French Republic and His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India ;

Desiring to reduce the burdens and prevent the dangers inherent in competition in naval armament ;

Desiring, in view of the forthcoming expiration of the Treaty for the Limitation of Naval Armament signed at Washington on the 6th February, 1922, and of the Treaty for the Limitation and Reduction of Naval Armament signed in London on the 22nd April, 1930 (save for Part IV thereof), to make provision for the limitation of naval armament, and for the exchange of information concerning naval construction ;

Have resolved to conclude a Treaty for these purposes and have appointed as their Plenipotentiaries :—

The President of the United States of America :

The Honourable Norman H. Davis ;

Admiral William H. Standley, United States Navy, Chief of Naval Operations ;

The President of the French Republic :

TABLES DES MATIERES.

	Page.
1. Traité naval de Londres, de 1936.	1
2. Protocole de Signature.... ..	30
3. Protocole additionnel.	32

CONTENTS.

	Page.
1. London Naval Treaty of 1936.	1
2. Protocol of Signature.	30
3. Additional Protocol.... ..	32